

經 營 学 部

【経営学科開設科目】

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
	選 択 必 修 科 目					
6001	会 計 原 理 1	1	選・必	4	鎌 田 信 夫	
6002 6003	会 計 原 理 2 3	1	選・必	4	斎 藤 孝 一	
6004	会 計 原 理	2・3・4	選・必	4	鎌 田 信 夫	2 年次生以上用
6011	外 書 講 読 I	1	選・必	4	藤 原 道 夫	
6012					加 藤 清	
6013					{ 湯 本 祐 司 成 生 達 彦	前期 後期
6014					岩 城 秀 樹	
6006	経 済 原 論 1	2	選・必	4	水 谷 重 秋	
6007	経 済 原 論 2	2	選・必	4	辻 正 次	
6031	外 書 講 読 II	2	選・必	4	大 津 誠	
6032					T. Jitodai	
6033					高 橋 弘 一	
6034					渡 辺 直 登	
6035					{ 湯 本 祐 司 成 生 達 彦	前期 後期
6051	演 習 I	3	選・必	4	藤 井 達 敬	
6052					飯 原 慶 雄	
6053					鎌 田 信 夫	
6054					加 藤 清	
6055					大 雄 令 純	
6056					大 津 誠	
6057					藤 原 道 夫	
6058					成 生 達 彦	
6059					高 橋 弘 一	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6060	演 習 I	3	選・必	4	渡 辺 直 登	夏期集中+ 後期・隔週
6061					井 上 詔 三	
6071	演習Ⅱおよび卒業論文	4	選・必	4	藤 井 達 敬	
6072					飯 原 慶 雄	
6073					鎌 田 信 夫	
6074					大 雄 令 純	
6075					大 津 誠	
6076					藤 原 道 夫	
6077					成 生 達 彦	
6078					和 田 一 夫	
6079					渡 辺 直 登	
6101	経 営 学 総 論 1	1	選・必	4	藤 井 達 敬	
6102	経 営 学 総 論 2	1	選・必	4	大 津 誠	
6104	経 営 学 総 論	2	選・必	4	岸 田 民 樹	(2年次生以上用) 前期+夏期集中
6106 6107	財 務 会 計 論 1/2	2	選・必	4	大 雄 令 純	
6111 6112	経 営 統 計 学 1/2	2	選・必	4	{ 松 田 眞 一 木 村 美 善	前期 後期
6116	経 営 労 務 論 1	2	選・必	4	藤 原 道 夫	
6117	経 営 労 務 論 2	2	選・必	4	大 津 誠	前期
6121	経 営 史	2	選・必	4	和 田 一 夫	
6126	企 業 論	2	選・必	4	成 生 達 彦	
6131	経 営 財 務 論 1	2	選・必	4	飯 原 慶 雄	
6132	経 営 財 務 論 2	2	選・必	4	M. Bremer	後期
6136	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	選・必	4	中 田 善 啓	隔週
6501	英 語 I A (読解および作文)	1	選・必	4	{ K. Ryan D. Dunkley	国際コース用
6502	B				J. Mainland	
6503	C				P. LaForge	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6504	英 語 I D (読解および作文)				P. LaForge	
6506	英 語 II A (読解および作文)	2	選・必	4	J. Mainland	国際コース用
6507					L. Guishard	
6508					D. Rines	
6509					K. Yasuda D. McCreath	
6511	英 語 III 1 (論文作成法)	3	選・必	4	M. LaForge	国際コース用 前期
6512					D. Rines	前期
6513					M. LaForge	後期
6514					D. Rines	後期
6516	テーマ・ディスカッション1	3	選・必	4	D. Rines	国際コース用 前期
6517					M. LaForge	前期
6518					D. Rines	後期
6519					M. LaForge	後期
6521	英語論文作成指導 A	4	選・必	2	M. Bremer	国際コース用 後期
6522	B				J. Mainland	後期
選 択 科 目						
6201	経 営 組 織 論	2	選	4	渡 辺 直 登	
6202	組 織 心 理 学	3	選	4		本年度休講
6203	労 使 関 係 論	3	選	4	藤 原 道 夫	
6204	産 業 社 会 学	3	選	4		本年度休講
6211	投 資 論	3	選	4	加 藤 清	
6212	金 融 機 関 論	3	選	4		本年度休講
6213	国 際 財 務 論	3	選	4	M. Bremer	後期
6214	資 本 市 場 論	3	選	4	國 村 道 雄	
6221	流 通 論	3	選	4	成 生 達 彦	隔週

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6222	マーケティング・マネジメント	3	選	4	湯 本 祐 司	前期＋夏期集中
6223	市 場 調 査 論	3	選	4	中 田 善 啓	夏期集中
6231	簿 記 論	2	選	4	高 橋 弘 一	
6232	株 式 会 社 会 計	2	選	4	高 橋 弘 一	
6233	原 価 計 算 論	3	選	4		本年度休講
6234	管 理 会 計 論	3	選	4	小 川 洸	夏期集中
6235	監 査 論	3	選	4	鳥 羽 至 英	夏期集中
6236	国 際 会 計 論	3	選	4	{ 大 雄 令 純 藤 田 幸 男	前期 夏期集中
6237	経 営 分 析 論	3	選	4	大 雄 令 純	
6238	税 務 会 計 論	3	選	4	大雄 令純 他	
6251	多 国 籍 企 業 論	3	選	4	A. Iaquinto	前期
6252	経 営 管 理 総 論	2	選	4	岸 田 民 樹	前期＋夏期集中
6253	国 際 経 営 事 情 (外国為替と国際金融)	3	選	4	堀 晃 明	
6254	国 際 経 営 事 情 (国際経営政策)	3	選	4	上 田 太 蔵	隔週
6264	経 営 学 特 殊 問 題 (財務報告論)	3	選	4	鎌 田 信 夫	
6266	経 営 学 特 殊 問 題 (日本経営史)	3	選	4	石 川 健次郎	夏期集中
6267	経 営 学 特 殊 問 題 (金融派生商品)	3	選	4	飯 原 慶 雄	
6270	経 営 学 特 殊 問 題 (経営数学)	2	選	4	皆 川 正	
6271	経 営 学 特 殊 問 題 (企業金融の理論)	3	選	4	倉 澤 資 成	夏期集中
6272	経 営 学 特 殊 問 題 (EC経済論)	3	選	4	渡 邊 頼 純	
6273	経 営 学 特 殊 問 題 (国際関係論)	3	選	4	菊 池 努	
6274	経 営 学 特 殊 問 題 (データ解析)	3	選	4	成生達彦 他	

科 目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6281	経営学特殊問題 (Japanese Business)	3	選	4	A. Iaquinto	後期
6282	経営学特殊問題 (Business in North America)	3	選	4	M. Bremer	前期
6283	経営学特殊問題 (Data Analysis)	3	選	4	T. Jitodai	前期
6284	経営学特殊問題 (American Society)	3	選	4	T. Jitodai	後期
6285	経営学特殊問題 (国際経営戦略論)	3	選	4	A. Iaquinto	後期
6286	経営学特殊問題 (World Population Pblems)	3	選	4	T. Jitodai	後期
6291	経営学特殊問題 (経営倫理)	3	選	2	P. LaForge	後期
6292	経営学特殊問題 (日米の労働問題)	3	選	4	大 津 誠	
6293	経営学特殊問題 (日本の経済と市場)	3	選	4	宮 崎 元	夏期集中
6401 6402	現代産業論 (損害保険論)1・2	3	選	2	並 木 友	前期 後期
6403 6404	現代産業論 (総合商社論)1・2	3	選	2	奥 野 賢 造	前期 後期
6411 6412	現代産業論 (電子・電機産業論)1・2	3	選	2	若 林 直 樹	前期 後期
6413 6414	現代産業論 (自動車産業論)1・2	3	選	2	榎 本 幸 一	前期 後期
6415 6416	現代産業論 (都市銀行論)1・2	3	選	2	高 木 夏 樹	前期 後期
6417 6418	現代産業論 (先輩経営者と語る)1・2	3	選	2	早川淳一郎他	前期 後期
6451	国際ビジネス論	1	選	4	加 藤 清	
6461	国際経営研究Ⅰ 1	3	選	2	加 藤 清	後期
6462	国際経営研究Ⅰ 2	3	選	2	大 津 誠	後期
6466	国際経営研究Ⅱ 1	4	選	4	M. Bremer	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6467	国際経営研究Ⅱ 2 オペレーションズ・ リサーチ概論	4	選	4	加 藤 清	情報管理学科開講科目「オペレーションズ・リサーチ概論Ⅰ・Ⅱ」で充当
		3	選	4	澤 木 勝 茂	
6302	経 営 情 報 論	3	選	4	山 田 進	
6303	経 営 シ ス テ ム 論	2	選	4		本年度休講
6304	計 算 機 概 論	3	選	4		本年度休講
6305 6306	情 報 処 理 概 論 (Basic) 1・2	3	選	4	村 本 正 生	
6307	情 報 処 理 概 論 (Fortran)	3	選	4	井 垣 伸 子	夏期集中
6308	情 報 処 理 概 論 (Cobol)	3	選	4	山 田 進	
6309	情 報 処 理 概 論 (Pascal)	3	選	4	村 本 正 生	
6351	時 事 英 語 (General Topics)	3	選	4	K. Yasuda	
6352	時 事 英 語 (Newspapers)	3	選	4	D. McCreath	前期
6353	時 事 英 語 (Magazines)	3	選	4	D. McCreath	後期
6356	英 語 C D 1	2	選	2	香 取 真理子	
6357	英 語 C D 2	2	選	2	平 出 昌 嗣	
6531	英 会 話 I A	1	選	2	L. Gishard	
6532	英 会 話 I B	1	選	2	P. Wringer	
6535	英 会 話 II A	2	選	2	M. Monaghan	
6536	英 会 話 II B	2	選	2	P. Wringer	
6541	ビ ジ ネ ス 英 語 1	3	選	2	S. Prue	後期
6542	ビ ジ ネ ス 英 語 2	3	選	2	D. Pelyk	後期
5835	民 法 I 1	2	選	4	柳 澤 秀 吉	
5836	民 法 I 2	2	選	4	本 城 武 雄	
5845	民 法 II	3	選	4	松 倉 耕 作	
5851	商 法 I	3	選	4	篠 田 四 郎	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
5855	商 法 II	3	選	4	篠 田 四 郎	
5865	経 済 法	3	選	4		本年度休講
5861	労 働 法	3	選	4	平 川 亮 一	
5521	国 際 経 済 学	3	選	4	山 田 正 次	経済学部開講科目
5523	開 発 経 済 学	3	選	4	林 尚 志	経済学部開講科目
5524	国 際 金 融 論	3	選	4		経済学部開講科目 本年度休講
5585	経 済 体 制 論	3	選	4	家 本 博 一	経済学部開講科目
	国 際 法	3	選	4	岡 田 泉	法学部開講科目 「国際法 I」で充当
8395	国 際 取 引 法	3	選	2	佐 野 寛	法学部開講科目 夏期集中
8470	国 際 政 治 学	3	選	4		法学部開講科目
1591	フランス語 II 講読	2	選	2	栗 須 公 正	仏文学科開講科目
1592	フランス語 II 会話	2	選	2	濱 名 優 美	仏文学科開講科目
1595	上級フランス語 I	3	選	2	練 尾 毅	仏文学科開講科目
1596	上級フランス語 II	3	選	2	練 尾 毅	仏文学科開講科目
1690	ドイツ語 II 訳読	2	選	2	櫻 井 健 吾	独文学科開講科目
1692	ドイツ語 II 会話	2	選	2	A. Plum	独文学科開講科目
1695	上級ドイツ語 I	3	選	2	伊 藤 秋 男	独文学科開講科目
1696	上級ドイツ語 II	4	選	2	伊 藤 秋 男	独文学科開講科目
3901	イスパニア語 II 講読	2	選	2	芝 修 身	イスパニア科 開講科目
3902	イスパニア語 II 会話	2	選	2	E. Goicoechea	イスパニア科 開講科目
3911	上級イスパニア語 I	3	選	2		イスパニア科 開講科目
3915	上級イスパニア語 II	3	選	2		イスパニア科 開講科目
3921	ブラジルポルトガル語 II	2	選	2	富 野 幹 雄	
3925	上級ブラジル ポルトガル語 I	3	選	2	富 野 幹 雄	イスパニア科 開講科目
	上級ブラジル ポルトガル語 II	3	選	2		イスパニア科 開講科目 本年度休講

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
	自 由 科 目					
6901	職 業 指 導 1	3	自	4	藤 原 道 夫	「経営労務論」で充当
6902	職 業 指 導 2	3	自	4	大 津 誠	「経営労務論」で充当 前期
	随 意 科 目					
9091	商 業 科 教 育 法 A	3	随	2	安 藤 明 之	前期
9092	商 業 科 教 育 法 B	3	随	2	安 藤 明 之	夏期集中
						両科目とも履修の と。

【経営学部経営学科】

講義概要

6001 会計原理 1 (選必・1年次・4単位・通年)

6004 会計原理 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) (再履修者用)

鎌田 信夫

会計は企業の財務情報を分析し、測定し、分類し、意思決定者に報告するための1つの体系的な方法である。この講義においては、これについて以下に示す項目に準拠して、この方法の基本的枠組について講述する。

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 企業の取引の測定 | 7. 実現基準 |
| 2. 複式簿記の原理 | 8. 利益の計算 |
| 3. 取引測定の前提 | 9. 資本の調達 |
| 4. 資料の収集、記録、分類、
要約および報告 | 10. 財務諸表・損益計算書・
資金収支表・貸借対照表 |
| 5. 信用制度と会計 | 11. 取得原価と時価 |
| 6. 取得原価と費用配分 | |

基本的テキストとして、鎌田信夫編著『簿記原理要説』を使用する。また、問題演習用のワーキング・ペーパーを使用する。

6002 会計原理 2 (選必・1年次・4単位・通年)

6003

斎藤 孝一

企業会計における理論と実務は、企業環境の国際化、情報化によって大きな変化を遂げつつある。これら新しい変化に対応するための能力を身につけるためには、まず簿記会計に関する一般的な知識を体系的に学ぶ必要がある。簿記に関する基礎知識がなければ企業会計を正しく理解することはできないからである。

基本的テキストとして武田安弘編著『最新簿記精説 上巻』を使用し、また講義ではワーキング・ペーパーを使用する。

6006 経済原論 1 (選必・2年次・4単位・通年)

水谷 重秋

テキスト：新開・新飯田・根岸『近代経済学（新版）』（有斐閣、1987）

内容：①ミクロ経済学——需要と供給、家計の行動、企業の行動、需要と供給の均衡、不完全競争と産業組織、価格機構の全貌。

②マクロ経済学——経済活動の水準、国民所得の決定、政府・外国貿易と国民所得、消費と投資、貨幣と信用、景気循環、経済の成長と発展。

6007 経済原論 2 (選必・2 年次・4 単位・通年) 辻 正 次

本講義では、現実の経済でのマクロ的現象を見きわめるための基礎的な理論の枠組を示すことにある。特に、経済活動水準たる GNP がどのようにして決まるかを中心に、閉鎖経済あるいは国際経済といった異った環境での分析や経済政策への応用に力点を置く。講義では数学を多用せず、グラフや表を用いてマクロ経済学を楽しんで理解できるように配慮する。

テキスト：牛嶋・林編『マクロ経済学の基礎第 2 版』(有斐閣、1993)

辻・田岡編『入門国際マクロ経済学』(多賀出版、1993)

辻訳『マクロ経済学』(多賀出版、1990)

6011
6014 外書講読 I (選必・1 年次・4 単位・通年)

藤 原 道 夫 加 藤 清

{ (前) 湯 本 祐 司 岩 城 秀 樹
{ (後) 成 生 達 彦

経営学の諸分野で使われる英語の読解力の基礎を養う事を目的として、アメリカにおける代表的な経営学の入門書を講読する。授業は英語を日本語に置きかえるいわゆる英文和訳ではなく、英文の大意をパラグラフ毎に理解する速読方式で進められる。内容はビジネス及び経営の基礎的概念や制度の理解に重点を置き、経営理論についての言及は最少限に止められる。

テキスト：Wylie A. Walthall and Michael J. Winth, *Getting into Business: An Introduction to Business (4th ed.)*, Harper & Row, 1987.

6031 外書講読 II (選必・2 年次・4 単位・通年) 大 津 誠
[人的資源管理論]

企業の人材管理(採用、教育・訓練、処遇など)について、下記の教材をもとに基本的な考え方を勉強する。

1. David, F. R. *Strategic Management* (Macmillan, 1991)
“The Nature of Strategic Management.”
2. Walker, J. W. *Human Resource Strategy* (McGraw-Hill, 1992)
“Defining the Strategic Context for Human Resource Issues.”
3. Leap, T. L., & Crino, M. D. *Personnel/Human Resource Management* (Macmillan, 1990)
“An Introduction.”

6032 外書講読Ⅱ (選必・2年次・4単位・通年) T. Jitodai

ニューヨーク・タイムズ、ニュース・ウィーク、タイム等主としてアメリカの新聞・雑誌記事を教材として、ビジネスのみに限らず社会、政治等の分野の諸問題についての理解を深める。

授業は英語で行われるが、必要最少限の解説は日本語で行われる。

6033 外書講読Ⅱ (選必・2年次・4単位・通年) 高橋 弘一

下記の英文テキストを用いて、会計の基礎概念や会計測定の理論的枠組み(フレームワーク)について理解を深める。

使用する教材は、アメリカの多くの大学で採用されている会計学の入門コース用教科書のいわゆる学習手引書である。したがって、授業では、「会計原理」や「財務会計論」のエッセンスを英語で学ぶ、と理解してもらえばよい。

テキスト: Anthony, Robert N., *A Review of Essentials of Accounting*, Addison-Wesley.

参考書: Anthony, Robert N., et al., *Accounting: Text and Cases*, Irwin.

6034 外書講読Ⅱ (選必・2年次・4単位・通年) 渡辺 直登

経営組織における人間行動について、アメリカで一般に使われている入門用の教科書を使って学びます。トピックスとしては、組織行動とは何か、個人の性格と組織との一致はいかにはかれるか、仕事への意欲はいかにして生まれるのか、集団心理はどのような力を持つのか、組織変革はどのようにして起こるのか、などを取り上げます。

テキスト: Robbins, S. P. 1991 *Organizational Behavior: Concepts, controversies, and applications*.

6035 外書講読Ⅱ (選必・2年次・4単位・通年) (前) 湯本 祐司

(後) 成生 達彦

前期: 自分の行動の結果が自分だけでなく他の人々の行動にも依存する場合、他の人々の行動を考えた上で自分にとって最善の行動を選択する必要がある。ゲーム理論はこのような状況におけるシステムティックな考え方を提供する理論である。

授業では下記のテキストを通じて、ゲーム理論の基本的考え方およびマネジメントへの応用を学んでいく。

テキスト: John McMillan, *GAMES, STRATEGY, AND MANAGERS*, Oxford, 1992.

後期: 不確実性、不完全情報のもとでの意思決定およびそれにまつわる幾つかのトピックスについて検討する。教材は次の論文の予定である。

テキスト：Jack Hirshleifer and John Riley, *The Economics of Uncertainty and Information*.

6051 演習 I (選必・3年次・4単位・通年) 藤井達敬

会計学(アメリカ財務会計論)

前期では2年次までに習得した経営学、会計学に関する知識の復習に努め、企業に関する総合的理解にあてる。この段階で使用するテキストとして

テキスト1：松田修一著『会社の読み方入門』(日本経済社)を用いる。後期では前期で学んだ知識を基礎として、会計学の中でも会計原則論とよばれる領域に焦点をあてて勉強するが、特にアメリカにおける会計原則の形成過程を中心に研究するこの段階では、テキストとして、

テキスト2：青柳文司著『アメリカ会計学』(中央経済社)

テキスト3：“Obtaining Agreement on Standards in Accounting Profession,” by M. Moonitz, *Studies in Accounting Research* #8, AAA

を用いる。

なお、年間を通じてサブゼミを実施するがサブゼミでは、日本の財務公開制度において公開される財務諸表の作成演習に取り組む。即ち、財務諸表規則、計算書類規則、企業会計原則等の会計関連諸法規にもとづいて、公開される財務諸表を練習問題を解く形で作成する訓練をする。この過程で簿記、会計学の体系的な知識を深めていく。したがって、会計原理、財務会計論、簿記論、株式会社社会の履修を済ませていることが望ましいが、未履修の場合は3年次で履修してもらう。

6052 演習 I (選必・3年次・4単位・通年) 飯原慶雄
経営財務論(金融資本市場の現状と将来)

現在、国際的に金融資本市場は大きく変わってきている。また、日本でも金融関係の経済活動の中で占める割合は急速に上昇してきている。このような変化の現状と将来について勉強していく。

株式、社債、国債といった伝統的な証券の特性について勉強するとともに、株式指数先物、株式指数オプション、債券先物、債券オプション、ユーロ・ボンド、ユーロ円債、CD、CPなどの新しい金融商品の仕組みについても勉強していく。

3年次では、これらのことの基礎的知識を得るために共通のテキストで勉強し、4年次では、各自が個別のテーマを選択し、それぞれのテーマにしたがって勉強する。3年次で使用するテキストとしては、日本あるいは米国の証券市場、金融制度を概観できるようなものを考えているが、まだ決定していない。

6053 演習 I (選必・3年次・4単位・通年) 鎌田 信夫
財務会計(資金会計)

1. 講義内容
会計情報を十分活用して、正しい意思決定ができるよう、会計情報とくに資金に関する知識・技術および方法に関する問題を取りあげて検討する。会計情報の内容について十分な知識を修得すると同時に、会計情報の限界についても知らなければならない。

2. テキスト

- (1) 飯野利夫著『財務会計論』(同文館、昭和63年)
- (2) Harry I. Wolk, Jere R. Francis, Michael G. Tearney、*Accounting Theory*, Kent, 1984
- (3) 鎌田信夫、大雄令純、武田安弘共訳『現金収支会計』(創成社、平成元年)

3. ゼミ合宿等

ゼミ合宿は年1回程度行う。全員参加することを原則とする。

6054 演習 I (選必・3年次・4単位・通年) 加藤 清
ファイナンスゼミについて

ゼミのモットー：一生懸命に遊び、一生懸命に学ぶ (Time Management)

テキスト：*Introduction to Futures and Options Markets* by John Hull
Prentice Hall

受験英語と受験数学が苦手だった人、もう一度自分の能力を確認してみましょう。
英語の本を使い、算数を駆使しながらファイナンスの一分野である派生証券市場について一緒に勉強していきます。

6055 演習 I (選必・3年次・4単位・通年) 大雄 令純
会計学

会計原理および財務会計論で学んだ内容をふまえて、わが国の理論的・実践的会計問題を国際的視点から学ぶ。テキストは次のものを使用する。

『検定簿記講義 商業簿記2級』、『同 商業簿記1級』(中央経済社、平成4年)、および会計に関する雑誌論文、新聞記事(論文・記事はコピーして配布する)

ゼミでは、次の点を当面の目標とする。

- (1) 最低、日商簿記2級合格。
- (2) 他大学ゼミとの合同討論会用の共同論文の完成。
- (3) 一般に通用する形式・内容のレポートの作成に慣れること。

自主的・主体的に問題意識を持って学ぼうとする学生の参加を望みたい。

6056 演習Ⅰ（選必・3年次・4単位・通年）大津 誠

経営組織内における人間行動・雇用関係の研究を、主として組織行動論の立場から行う。取り扱う主な問題は動機づけ、職務満足と生産性、リーダーシップ、従業員の経営参加、人材開発および賃金問題である。又現象としての「日本の経営」についても組織行動論の立場から扱ってみたい。3年次ではこれらの諸問題についての基礎的知識を得るために、アメリカの大学で使われている初歩的テキストを選び使用したい。現在予定しているテキストは、

John Schermerhorn, James Hunt, Richard Osborn, *Managing Organizational Behavior* (4th ed.), John Wiley & Sons, 1991である。グループ発表、討論、レポート作成等を通じて、英語読解能力、自己表現能力、文献調査能力の向上を目的としている。サブゼミは行わない。

選考が必要な場合には英語力の高い学生又は統計学の基礎知識を有する学生を優先する。

6057 演習Ⅰ（選必・3年次・4単位・通年）藤原 道夫
経営労務論

「情報技術革命の進展と人事・労務管理の変化」という大テーマの中で勉強していく予定です。企業についての基礎知識をまとめるために、日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』を読み、練習問題をやっていきます。その後、人事・労務管理の専門領域を勉強していくことになります。

ゼミの課題として行ってもらうことは、図書検索システム、文献・記事検索システムを使って、必要なデータを収集し分析すること（具体的な方法はゼミで説明します）と、年間数冊の文献をゼミ以外の時間に読み書評を書くことです。現代の情報化社会では、学生の時から何らかの形でコンピューターを道具にすることに慣れてもらいたいと考えています。

ゼミに参加する諸君には、自分の頭で考え、自分の言葉で話し、そして議論する能力をつけてもらいます。社会現象や人事・労務に興味・関心を持っている諸君の参加を待っています。コンパ・旅行・合宿などのゼミ活動はゼミ生の発意と工夫によります。

希望者が多い時には、「企業で働くこと」についてテーマを与え、作文を書いてもらいます。作文の評価は、専門知識を問うことではなくて、きちんと自分の考えを文章にできるかどうかという点で行います。

具体的なゼミの進め方は、4月に諸君の関心・興味を見た上で決めて行きます。

6058 演習Ⅰ（選必・3年次・4単位・通年）成生 達彦
マーケティング

ゼミでは、さまざまなマーケティング現象をミクロ経済学のフレームワークを用

いて検討する。とはいえ完全情報を持つ競争的な経済主体間での Frictionless な取引プロセスを扱う“教科書的な”市場モデルにおいては、生産と消費との間の時間、空間、情報等の懸隔は、仮定によって捨象されており、それゆえ、それらの懸隔を架橋するマーケティングは重要な意味をもち得ない。実際、興味あるマーケティング現象を説明するためには不確実性や、情報の不完全性、寡占や独占等の不完全競争要因、さらには在庫費用や輸送費用をはじめとするさまざまな取引費用の導入が不可欠である。その意味で基盤となるミクロ経済理論も、

- 1) 不確実性下での意思決定論や情報の経済理論
 - 2) 経済主体間の相互作用を扱うゲーム論
 - 3) エージェンシー理論等の“内部組織の経済分析”
- など、比較的高度なものにならざるを得ない。ゼミでは、3年次にこれらの基礎理論を勉強するが、そのための準備として、

- 1) 田村・鈴木著『商業論』(有斐閣)
 - 2) 倉沢資成著『価格理論入門』(日本評論社)
 - 3) アロー著(村上訳)『組織の限界』(岩波書店)
- を読んでおくことが望ましい。4年次では、基礎理論を踏まえた上で、従来のマーケティング文献を批判的に検討する。

6059 演習Ⅰ (選必・3年次・4単位・通年) 高橋 弘一

財務会計論

ゼミナールの研究テーマ：「財務会計および企業のディスクロージャー制度の研究」

〔課題Ⅰ〕

わが国の財務会計領域には「証券取引法」(「企業会計原則」の実質的な制度的基盤はこの法律である)、「商法」、および「法人税法」の三つの法律が並存し、しかもそれぞれの考え方には食い違いが存在する。会計理論の理解の深化を通じて、制度的問題の分析能力を涵養することが当ゼミナールの第一の課題である。

〔課題Ⅱ〕

日本経済新聞社編『有価証券報告書の読み方』を通じて有価証券報告書の利用方法を習得し、その応用能力を涵養すること。

主な教材：

中村忠著『新版財務諸表論セミナー』(白桃書房)

日本経済新聞社編『有価証券報告書の読み方』

中央経済社編『会計法規集』

ゼミナール活動：

秋に1～2泊程度の合宿をする予定。

6060 演習Ⅰ (選必・3年次・4単位・通年) 渡辺直登
組織心理学

「キャリア発達の研究」というテーマでゼミをすすめる。最初に教科書を使って人間の発達段階、ライフ・サイクル、といった基礎的な事項について学んだ後、職業選択、職場適応、企業内教育、技能形成、昇進、結婚・退職、女性とキャリア、キャリア・カウンセリングといった個別テーマについて、さらに深く勉強する。個別テーマについては、受講者の関心の高いものを選びたい。

前期の授業は、毎週リポーターを決めて、その人の報告を中心にすすめる。リポートする人には、リポート用紙8～10枚の詳細なレジュメ(要約、感想、批判、関連文献一覧表を必ず含むこと)を準備することが義務付けられる。授業は通常5時までに行い、延長時間には、各種の心理学実習(心理テストの施行法、解釈法、心理データの分析方法など)を行う。原則として毎週宿題を出すので、相当なハード・ワークを覚悟して履修してほしい。

後期は、前期に勉強した個別テーマについてグループで実証研究を行う。その際、心理面接法、質問紙調査法などの研究方法を、実際の作業を通じて学習する。

なお、履修にあたっては、『データ解析』を併行して履修することが望ましい。

6061 演習Ⅰ (選必・3年次・4単位・夏期+後期・隔週) 井上詔三

企業はヒト・モノ・カネ・情報を組み合わせて経済活動をする。ヒトは、働いて生計をたてる。ゼミでは、この「ヒト」すなわち人的資源を考察の対象とする。

人的資源の利用にかんする企業行動を、ここでは「人的資源管理」(Human Resource Management)と呼び、経営組織における人的資源管理活動についての理解を深めるのがゼミのねらいである。

初めに、内部組織の経済理論を輪読し企業がなぜ存在するかを理解し次に、企業の人的資源活動について理解を深める。4年次では、各自の関心に応じた課題を選び、卒業論文をまとめる。

希望者の多い場合には、学業成績を参考にします。

6071 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 藤井達敬

6072 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 飯原慶雄

6073 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 鎌田信夫

6074 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 大雄令純

6075 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 大津誠

6076 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 藤原 道夫

6077 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 成生 達彦

6078 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 和田 一夫

6079 演習Ⅱおよび卒業論文 (選必・4年次・4単位・通年) 渡辺 直登

6101 経営学総論1 (選必・1年次・4単位・通年) 藤井 達敬

経営学の対象を企業に絞って、企業活動の諸側面について講ずる。現代企業は高度産業社会の発展とともに著しく変貌してきたが、この過程について講ずるとともに現代企業の特質を明らかにする。さらに現代企業の組織と管理について体系的に検討をすすめる。また企業の戦略論についても考えてみたい。最後に特に最近注目を集めている日本的経営論、企業の情報化、国際化についても触れる。以上のような講義を通じて、現代企業についての基本的考え方、概念、管理手法、企業の直面している諸問題等についての理解を深める。

テキスト：占部都美著『経営学入門』（中央経済社、1986年）

参考文献(1) 占部都美著『経営学入門』（中央経済社、1986年）

(2) 降旗武彦著『経営学原理』（実教出版、1986年）

(3) 森本三男著『経営学入門』（同文館出版、1987年）

(4) 河野豊弘著『経営学原論』（白桃書房、1987年）

(5) 山城 章著『経営学』（白桃書房、1988年）

(6) 伊丹敬之・加護忠男著『ゼミナール・経営学入門』（日本経済新聞社、1989年）

(7) 松田修一著『ビジネス・ゼミナール 会社の読み方入門』（日本経済新聞社、1992年）

6102 経営学総論2 (選必・1年次・4単位・通年) 大津 誠

アメリカの大学で使用されている経営学の入門的テキストを使用し、現代企業の活動について日米比較の観点から紹介する。企業を有機的組織体として総合的に理解する事に重点が置かれ、会計、財務、マーケティング、人事等個別の機能についての言及は最少限に止められる。主な内容は以下の通り。経営意思決定、経営戦略、環境変化と戦略、組織構造、組織設計、指揮・命令、経営倫理、国際経営。

テキスト：Lloyd S. Baird, James E. Post and John F. Mahon, *Management: Functions and Responsibilities*, Harper & Row, 1990.

6104 経営学総論 (選必・2・3・4年次・4単位・前期・夏期集中)

岸 田 民 樹

経営とは、ヒト、モノ、カネおよび情報を、一定の意味をもった「組織」へと編成することである。この編成の方法が、分化（水平的分業と垂直的分業）と統合（階層＋水平的関係）であり、この両者のバランスによって、さまざまな経営形態が現出することになる。基本的な経営形態について、その歴史的な生成および現代における諸問題を、実例を交えながら明らかにする。

教科書：岸田民樹著『経営組織と環境適応』（三嶺書房 1985）

6106 財務会計論 1 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 大 雄 令 純

財務会計は、企業外部の投資者・債権者等の利害関係者に対して、財務情報を提供することを目的とする会計である。財務会計論では、財務会計の理論と実践に関する主要問題について講義する。財務会計の目的、会計の基礎的前提、会計原則、収益・費用の認識と測定、資産・負債・資本の認識と測定、および財務諸表の作成がその主な内容である。

テキスト：新井清光著『現代会计学』（中央経済社、平成2年）

演習問題集（コピー）を授業の進捗に合わせて配布する。

「会計原理」を履修した後、受講すること。

6107 財務会計論 2 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 大 雄 令 純

6106「財務会計論 1」参照。ただし、テキストは次のものを使用する。

Clydep. Stickney et al., *Financial Accounting An Introduction to Concepts, Methods and Llases*, HBJ, 1991.

国際コース履修者およびアメリカの会計に関心のある者は、この科目を選択すること。

6111 経営統計学 1 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 前期 松田 眞一

6112 2 後期 木村 美善

統計的方法はコンピュータの発達にともない、様々な分野で活発に用いられるようになってきている。この講義では現代統計学の基本的概念と手法について解説し、それらがどのように応用されるのかを考察する。論理的厳密性よりも直感的理解に重点をおき、統計的なものの見方・考え方を身近な例を用いてわかりやすく説明する。

6116 経営労務論 1 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 藤 原 道 夫

経営労務は経営内部におけるヒトの問題を取り扱う領域である。採用から始まり、教育・訓練、配置、処遇などに関わっている。このような人事・労務管理の職能は

スタッフ部門である人事・労務部だけでなくラインの管理者も持っている。

本講義ではスタッフである人事・労務部に重点を置くが、「ヒトが経営の内部で働くことに関わる諸問題」を理解できるように、経営労務を解説する予定である。

講義の内容は次のとおりである。

- (1) 経営の発展と人事労務管理職能の発達
- (2) 現代企業における人事労務管理
- (3) 人事労務管理と行動科学理論
- (4) 人事労務管理の環境条件
- (5) 人事労務管理の施策領域
 - A. 従業員の経営への参加
 - B. 経営内での人的資源の流れ
採用、教育・訓練、異動、昇進
 - C. 動機づけと報酬の体系
 - D. 作業組織の設計

職務特性モデルと社会・技術システム

- (6) 企業戦略と人事戦略

- (7) 現代日本企業が直面している経営労務上の課題

テキスト：津田他著『人事労務管理』ミネルヴァ書房（近刊）

6117 経営労務論 2（選必・2・3・4年次・4単位・前期） 大津 誠

アメリカの大学で使用されている経営労務論の中級テキストを使用し、企業の人事・労務の諸問題について日米比較の観点から考察する。主なトピックは以下の通り。人員計画、採用、雇用平等、人事考課、賃金管理、能力開発、キャリア開発、労使関係、国際労務。これらの考察を通じて日本の多国籍企業が海外（主として北米）でどのような人事政策を展開すればよいかについても言及する。授業は日本語で行われるが教科書は英語であるため、ある程度の英語読解力が要求される。

テキスト：Gary Dessler, *Personnel/Human Resource Management* (5th ed.), Prentice Hall, 1991

6121 経営史（選必・2・3・4年次・4単位・通年） 和田 一夫

現代社会において大企業が果たす役割、またその及ぼす影響力は極めて大きい。その大企業がどのようにして生成し、発展してきたかを本講義では扱う。特に大企業生成の母国とでもいえるアメリカと、世界で初めて産業革命を達成したにもかかわらず大企業成立に遅れをとったイギリスを主に対象として、最初は講義を進める。その上で、第二次世界大戦後の日本の企業が急激な成長についても考えたい。現代の日本と世界の経済・企業を考える歴史的視点を受講生が獲得する手助けができればと考えている。日本の経営史について理解が不十分と思うものは、別に開講され

ている「経営学特殊問題（日本経営史）」を受講すること。

講義のおおまかな年間の予定は次のようである。

1. 序論：講義の対象と目的
2. 現代世界経済の概観：歴史的観点から
3. 伝統的企業の成立：産業革命とその影響
4. 現代企業の成立と発展
 - (1) 現代企業とは何か
 - (2) 現代企業成立の基盤
 - (3) アメリカにおける現代企業の成立
 - (4) イギリスにおける現代企業の成立：アメリカとの比較
 - (5) 日本における現代企業の成立
5. 現代企業の新局面：戦後における日本企業の躍進を中心にして
6. 展 望

講義中に参考文献についてはふれるが、テキストは特に指定しない。ただし、以下の2冊は経営史の必読文献である。

1. A. D. チャンドラー著、鳥羽・小林訳『経営者の時代』上・下（東洋経済新報社、1979）
2. A. D. チャンドラー著、三菱経済研究所訳『経営戦略と組織』（実業之日本社、1967）

他の文献については、「経営史」[『経営学ガイドブック』（第二版）]の参考文献が一応の参考になろう。

6126 企 業 論（選必・2・3・4年次・4単位・通年） 成 生 達 彦
ミクロ経済理論を用いて、企業の内部組織、垂直的取引関係および寡占企業間での（水平的）競争関係について検討する。講義で扱う topics は次のとおりである。

- 1) ミクロ経済理論
 - ・不確実性下の意思決定と情報の経済学
 - ・エージェンシー理論
- 2) 内部組織の経済理論
- 3) ディーラー—メーカー—サプライヤー関係（自動車産業を例として）
- 4) 競争戦略（R & D、広告、製品多角化戦略等）

6131 経営財務論1（選必・2・3・4年次・4単位・通年） 飯 原 慶 雄
経営財務論は企業が必要とする資金の調達と調達された資金の適切な運用を問題とする。これらの問題の解決のためには将来の不確実な現金流あるいは所得流の評価が中心課題となる。このような考え方に立って、割引計算、資本資産評価モデル、

オプション評価モデル、裁定評価理論、モジリニア・ミラー定理、効率的資本市場論について検討し、これら理論の企業財務への応用について考察する。

参考書：飯原『投資決定論』（日本経済評論社）

諸井『経営財務講義（第2版）』（東大出版）

6132 経営財務論2（選必・2・3・4年次・4単位・後期） M. Bremer

This course will explore the tools and concepts of corporate finance. Specific topics covered will include risk, return, cost of capital and capital budgeting. The course will also examine financing decisions, market efficiency, dividend policy, capital structure, working capital policy, valuation of the firm and the market for corporate control. Students will be required to read business periodicals and to keep up with current events in business and economics.

Likely Textbook : Lawrence Gitman, *Principles of Managerial Finance*.

6136 マーケティング論（選必・2・3・4年次・4単位・通年・隔週）

中 田 善 啓

企業のマーケティング行動を基礎から説明していく。現実に行われているマーケティングの事例をとりあげながら、マーケティングの基本概念を講義する。またマーケティングが社会に与える影響を説明し、成熟化時代のマーケティングを考える。

テキスト 中田善啓『マーケティング戦略と競争』（同文館、1992）

参考文献 中田善啓『マーケティングと組織間関係』（同文館、1991）

中田・成生・丸山編『マーケティングのニューウェーブ』（同文館、1991）

6201 経営組織論（選・2・3・4年次・4単位・通年） 渡 辺 直 登

前期は経営組織におけるさまざまな管理思想について、歴史的な脈絡を配慮しながら、それぞれの特色について講義を行う。主な内容としては、官僚制論、科学的管理論、人間関係論、行動科学的管理論、経営参加の思想などを扱う。

後期は経営組織の実態と組織の構造について講義を行う。経営組織は産業化の進展と共に変化してきており、現代企業の経営組織には以前見られなかったような特徴も見られるようになった。また同時に、経営組織として変わらずに有しているような原理もある。

このような点に留意して講義を行うが、主な内容は経営組織の構造、技術と経営組織、企業戦略と経営組織、組織開発などである。

参考書：津田真澄著『人事労務管理の思想』（有斐閣新書）

6203 労使関係論 (選・3・4年次・4単位・通年) 藤原 道夫

労使関係論というのは、勤労者が働き生活する上で作り上げていく労働組合という組織と経営者や国家との関係を探っていく学問領域である(詳しくは、『経営学ガイドブック(第2版)』を参照のこと)。したがって、労働組合の構造と機能とについて十分理解した上で、労働組合と他の組織との関係を研究していくことになる。しかも、あくまでも企業組織の存在を前提として考えなければならない。

講義は、はじめて労使関係のことを考えた諸君にも分かりやすいように、進めていくつもりである。前期は基礎的な知識を学び、後期は理論について考えることを目的にする。教科書・参考書については講義の中で紹介する。

講義内容は以下のとおりである。

1. 労使関係論の対象と方法
2. 労働組合のイメージ
3. 組織体としての労働組合
4. 諸外国の労働組合と日本の労働組合
5. 日本の企業別組合
6. 団体交渉・労使協議・苦情処理
7. 団体交渉
8. 労働争議
9. 労働組合効果
10. 労使関係の国際比較
11. 産業民主主義
12. まとめ

6211 投資論 (選・3・4年次・4単位・通年) 加藤 清

リスクなしで高い収益があげられるような美味しい話は本当にないのだろうか。

これを投資論の世界では裁定取引の機会が存在するという、投資論で扱う多くの理論は裁定機会が継続的には存在しないことを前提として、リスクをはかったり、理論価格を導いている。高いリターンをあげるためには、ある程度のリスクを覚悟しなければならないのである。それではリスクとはどのようににはかるのだろうか？

資本市場の役割にも触れながら、いくつかの資産価格評価モデルについて学ぶ。主なトピックは、ポートフォリオ理論、効率的市場仮説、資本市場の役割、派生証券市場とその価格形成(先物とオプションについて)などである。

6213 国際財務論 (選・3・4年次・4単位・後期) M. Bremer

This course deals with international financial markets and with the international dimensions of corporate financial management. The fundamental issue is how to deal with exchange rate movements.

Specific topics covered will include spot and forward exchange markets, options, exchange rate determination, foreign exchange risk, hedging, and international investment.

●Likely Textbook : Maurice D. Levi, *International Finance : The Markets and Financial Management of Multinational Business*, McGraw Hill, International Editions, Second Edition, 1990.

- 6214 資本市場論 (選・3・4年次・4単位・通年) 國村道雄
現代資本市場の諸問題を検討する。1. 戦前の株式取引—先物市場の成長、
2. 戦後の株式市場—法人化から機関化へ、3. 流通市場とディスクロージャー制
度、4. 発行市場とファイナンス、5. 株価指数オプション取引

テキスト：國村道雄・飯原慶雄『株式市場とオプション取引』（中央経済社）

講義資料：『証券関連データ』（國村作成）最初の講義時に配布する。

- 6221 流通論 (選・3・4年次・4単位・通年・隔週) 成生達彦
流通現象を考えるための視点・フレームワークを提供し、いくつかの Topics に
ついて理論モデルを用いて検討する。講義はミクロ経済理論についての基礎的な知
識を前提とする。

参考図書：石原・池尾・佐藤著『商業学』（有斐閣、Sシリーズ 1989）

中田・成生・丸山編『マーケティングのニューウェーブ』（同文館、
1990）

- 6222 マーケティング・マネジメント (選・3・4年次・4単位・前期+夏期集中) 湯本祐司
企業の対市場適応行動としてのマーケティングの基礎知識を体系的に解説する。
前半はマーケティング・マネジメントのプロセスを説明し、市場分析、消費者行動
分析に言及する。後半はマーケティング戦略の基本的構成要素である製品、価格、
販売経路、広告、販売促進をめぐる諸決定を取り上げる。参考文献については講義
の中で紹介する。

- 6223 市場調査論 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 中田善啓
実際にデータを大型計算を使って、統計処理を行い分析する。
大型計算機の使用方法、必要な統計パッケージの内容、使用方法是説明するので、
前もってそれらの知識を必要としない。又、データは用意する。

6231 簿記論 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 高橋 弘一

特殊商品売買、商的工業簿記、本支店会計、決算および財務諸表の作成など、高度の会計処理能力の養成を目的として授業を行なう。したがって、会計理論および複式簿記の双方について既に基礎的な学習を終えていることが本授業履修の前提である。

6232 株式会社会計 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 高橋 弘一

株式や社債の発行、配当その他の利益処分、会社の合併、企業集団の会計等、株式会社に関わる会計問題を中心に論議する。我が国の株式会社会計は「商法」と関わる部分が多く、しかもそれと会計理論との間に軋轢が生じている問題が少なくない。このため、「会社の計算」規定を中心に、「商法」についても多く論及する。

6234 管理会計論 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 小川 洸

管理会計の本質および体系、それを構成する計算技法についての講義を行う。講義の主な内容はつぎの通りである。

管理会計の体質と体系およびその領域、管理会計と財務会計との関連、短期利益計画、資金計画、長期利益総合計画、設備投資の経済性計算、ポートフォリオ分析、経営管理分析などである。講義では、内容の説明と同時に具体的ケースについて計算の学習を行う。

6235 監査論 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 鳥羽 至英

経済社会において、公認会計士による財務諸表監査がどのような役割を果たしているかについて、二つの理論モデルを提示しながら考えてみたい。

わが国の法制度のもとで、いかなる監査が株式会社について行われているかを、上記の理論モデルとの関係において、説明したい。

簿記・財務会計について初歩的な知識があれば、理解できるように授業を進める。

6236 国際会計論 (選・3・4年次・4単位・前期+夏期集中)

前期 大雄 令純

集中 藤田 幸男

国際会計は、企業の国際化に関連して生じる会計問題を取り扱う領域である。国際会計論では、多国籍企業の会計（外貨換算会計、国際財務報告など）、会計制度の国際比較、および会計基準の国際的調和化について講義する。

テキスト：野村・平松監訳『ミューラー・ガーノン・ミーク 国際会計入門』

(中央経済社、平成元年) その他邦文・英文資料のコピー。

6237 経営分析論 (選・3・4年次・4単位・通年) 大雄 令純

経営分析論では、財務諸表その他のデータを使って、企業の収益性(利益獲得能力)と安全性(倒産回避能力)の程度を評価し、収益性と安全性に影響を及ぼす原因を明らかにし、将来の計画にそれらの分析結果を反映するための考え方と方法を学ぶ。この講義では、テキストにより経営分析の考え方と方法を理解した上で、『有価証券報告書』証券取引法による上場会社等の年次報告書を使って、実際に分析を行う。

テキスト：田中弘著『経営分析の基本的技法』(中央経済社、平成3年)

6238 税務会計論 (選・3・4年次・4単位・通年) 大雄 令純

永田昭夫他
社会における税金の役割と税務と会計との関係を理解させ、会計上必要な税務の基礎的知識・技能を習得させることを目標とする。日本公認会計士協会東海会所属の会計士グループにより、国税・地税および国際税務の諸問題について講義する。講義資料は講義時に配付する。

会計原理および財務会計論を履修済みの学生(約40名)を対象する。

6251 多国籍企業論 (選・3・4年次・4単位・前期) A. Iaquinto

This is a survey course on the management of multinational corporations (MNCs). The course will first briefly discuss the external environment facing the MNC, e.g., international trade, foreign exchange, international legal environment, etc.. Other topics to be surveyed will be the strategy and structure of MNCs, multinational human resources management, multinational marketing, multinational finance, and technology transfer.

Text: Reading List

6252 経営管理総論 (選・2・3・4年次・4単位・前期+夏期集中)

岸田民樹

経営管理とは組織における問題解決過程であり、いかに人間活動を調整し(組織化)、環境に適応していくかという問題である。本年は、人間の活動が如何にして、組織化された活動へと組み上げられてゆくかという問題意識の下に、組織形成(Organizing)の議論を、さまざまな角度から紹介する。ルースリー・カップルド・システム(Loosely Coupled System)の理論をもとに、ネットワーク、ホロン、リゾーム、ピア・グループ、フラクタル構造などの新しい管理組織の特徴を明らかにする。

6253 国際経営事情 (選・3・4年次・4単位・通年) 堀 晃 明
(外国為替と国際金融)

前期においては、実社会において役に立つ外国為替実務の説明を中心にして適宜外国為替相場変動に関連したカレントトピックスを交えながら講義を行なう。後期においては変動相場制下における外国為替相場を理解する上で必要な国際通貨制度の歴史を辿り、また戦後世界的な資金市場に発達したユーロ市場についても触れることとする。

6254 国際経営事情 (選・3・4年次・4単位・通年・隔週) 上 田 太 蔵
(国際経営政策)

主としてアジア諸国の工業化とヨーロッパのEC統合市場における経営環境の分析及び技術開発力、生産システム、技術移転、直接投資を中心に日本企業の国際経営政策を論ずる。

参考書：R. Hodgetts, F. Luthans : International Management. McGraw
* Hill International Edition 1991.

6264 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・通年) 鎌 田 信 夫
(財務報告論)

外部報告の枠内で、現金収支にもとづく情報の会計およびその開示に関する問題をとりあげて検討する。実現した現金収支の報告と同時に将来の現金収支の問題も取り上げて検討する。

基本的テキスト：鎌田信夫編著『資金情報開示の理論と制度』（白桃書房）

鎌田信夫・武田安弘・大雄令純共訳『現金収支会計』（創成社）

鎌田信夫・藤田幸男共訳『ヒース財務報告と支払能力の評価』

6266 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 石 川 健次郎
(日本経営史)

「市場の変容と企業の対応—競争力の基礎の確立過程—」

企業が市場の変容に対してどのように対応したか。経営課題の設定、解決策の内実はどのようなものであったか。解決の過程で、また解決の結果、企業が市場をどのように変えたか。その日本の特性とは何か。

① 市場の変容と企業の対応—競争力の基礎—

② 広告代理業の出現

③ 花王石鹼・ライオン歯磨

④ 資生堂・森永製菓・カゴメ

⑤ カルピス・サントリー

⑥ 月桂冠

- ⑦ 福助足袋・メルボ・月星ゴム
- ⑧ 敷島パン・タイガー魔法瓶
- ⑨ セメダイン・パイロット万年筆
- ⑩ ビンの経営史
- ⑪ 箱の経営史
- ⑫ 箸の経営史
- ⑬ 缶の経営史

6267 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・通年) 飯原 慶雄
(金融派生商品)

先物・オプション・スワップ等、近年、開発された金融商品について、その特長、経済的機能、相対的価格関係を述べる。これらの商品は一見きわめて複雑な形をしているが、基本的考え方は簡単で共通した考え方をもっている。個々の商品の詳細を追うのではなく、基本的な考え方を中心にみていくことにする。

参考書：久保田敬一『オプションと先物』（東洋経済新報社）
：國村・飯原『株式市場とオプション取引』（中央経済社）

6270 経営学特殊問題 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 皆川 正
(経営数学)

複雑な経済現象を理解するためには、数学を用いたモデル化が必要とされる。本講義ではこうした数学についてできるだけ分かりやすく解説する。

6271 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 倉澤 資成
(企業金融の理論)

「情報の経済学」や「企業組織の経済分析」が盛んになるにつれて、企業金融(財務政策)の理論(Theory of Corporate Finance)も大きな発展を遂げつつある。この講義では、いまや伝統的な理論となったモジリアーニ／ミラーの理論と対比しながら、新しい企業金融の理論を紹介し、それによって日本の企業金融にみられる諸特徴がどのように理解できるかを考えたい。

6272 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・通年) 渡邊 頼純
(EC経済論)

経済学部 5529「国際経済学特殊講義(EC経済論)」参照。

6273 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・通年) 菊池 努
(国際関係論)

戦後の国際政治を規定してきた冷戦が終わり、世界は「ポスト冷戦」の時代に入っ

た。「新国際秩序」の樹立が唱えられ、日本もまた新たな役割を果たすよう求められている。新しい国際秩序がどのように形成されているのか、依然として不透明な部分が数多く残されている。しかし、冷戦が米ソ両国はもとより世界のほとんど全ての諸国に影響を及ぼした苛酷な戦いであったがゆえに、その残滓は、新たな国際秩序のあり方に強い影響を与えることになる。そこで本講義では、これからの世界を考える基礎として、先の世界大戦中にアメリカを中心に作りあげられた「戦後構想」を手がかりに、その後の冷戦の展開過程、国際システムの構造等を概観し、さらにその中で日本の戦後外交の歴史的発展過程を検討してみたい。

また講義の中で、国際関係の諸理論についても可能な限り言及したい。学生諸君が国際政治現象を見る際の基本的な分析枠組みを修得してくれることを期待します。

テキストは特になし。参考文献は授業の際に指示。ただし、入江昭、『日本の外交』および『新・日本の外交』（いずれも中公新書）は必ず読むこと。

6274 経営学特殊問題（選・3・4年次・4単位・通年） 成 生 達 彦・他
（データ解析）

財務、労務、マーケティング等の経営に纏わるさまざまなデータを、コンピュータを用いて分析する。前期はマーケティングデータを分散分析と回帰分析を用いて検討する。後期は財務論、労務論のトピックスが中心となる。コンピュータの操作や統計学についての知識は、必要に応じて講義する。

6281 経営学特殊問題（選・3・4年次・4単位・後期） A. Iaquinto
（Japanese Business）

This is a survey course on Japanese business and management designed primarily for students enrolled in the International Course. After a brief review of the historical development of Japanese business institutions from the Tokugawa era through the 1960's, the class will examine contemporary Japanese business and management practices.

Major topics will include political, economic and international environment of business, industrial structure, management and decision-making processes, personnel practices, labor-management relations, distribution systems, and financial markets. Throughout the course a central question will be addressed: What are the strengths and weaknesses of the so-called "Japanese style management" ?

Text: Reading List

- 6282 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・前期) M. Bremer
(Business in North America)

This course is an introduction to business in North America. The course will start with a survey of the American economy with special emphasis on taxes, regulations and the role of government in the economy. The course will discuss managerial practices and labor force characteristics of the North American economy. The financial side of American business will be explored, emphasizing banking and financial institutions. American production will be studied with stress on the development of the capital stock and changing technology. The distribution system and marketing will also be discussed.

Textbook : Robert L. McCan, *An Outline of American Economics*

- 6283 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・前期) T. Jitodai
(Data Analysis)

Analysis of behavioral data. Types of data and the appropriate analysis for descriptive and inductive purposes.

- 6284 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・後期) T. Jitodai
(American Society)

A sociological examination of contemporary American society — its major institutions and problems. An investigation of current trends in such areas as the family, education, race and ethnicity, crime.

- 6285 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・後期) A. Iaquinto
(国際経営戦略論)

This course is directed at students interested in the international aspects of strategy formulation with particular reference to multinational companies. Specifically, this course will analyze the types of strategic choices available to a multinational. In addition, this course will explore various structures and resources needed by multinational to support their global strategy. Finally, this course will examine various decision making methods and tools used by multinational organizations and analyze how those decision processes impact the timing, content, and quality of their global strategy. The course will consist of readings, class discussion, written case studies, and a final examination.

Text : Reading List

- 6286 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・後期) T. Jitodai
(World Population Problems)

Analysis of world population trends. An investigation of the components of population dynamics — births, deaths, migration and their socio-economic determinants and consequences.

- 6291 経営学特殊問題 (選・3・4年次・2単位・後期) P. LaForge
(経営倫理)

このクラスの目的はビジネスマンにとって最も大切な価値観を明確にする事である。授業は教員と学習者間の「教育契約」という方法にしたがって行われる。これは教員による講義の他に二人・小グループ・大グループのディスカッション等学習者の参加を重視する方法である。これらの活動を通じて学習者の自己啓発が期待される。尚授業はすべて日本語で行われる。とり扱われる主なトピックは以下の通りである。経営倫理とは、個人の責任と企業の責任、採用・昇進・退職における人間の尊厳、顧客・納入者・政府・株主等に対する倫理的行動、競争企業との関係及び合併。

テキスト:モラロジー研究所編『モラロジー概説』(1990)

- 6292 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・通年) 大 津 誠
(日米の労働問題)

最近いわゆる「日本的経営」についての礼讃は影をひそめ、むしろその問題点が指摘される様になった。日本的経営のうちでも特に人事管理のあり方が諸外国との間の経済的摩擦の重要な要因と考えられている。このクラスでは労使関係論の観点から日米の雇用慣行を比較し、特にアメリカに進出している日系企業の直面する労働問題(対労働組合関係、雇用差別問題等)について考察する。

テキスト:大津 誠『労使関係論——日本的経営と労働』(白桃書房、1991)

- 6293 経営学特殊問題 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 宮 崎 元
(日本の経済と市場)

企業の内部組織を含む産業構造の分析を進める。内容は数学的には初歩の分析であるが、モデルの経済学的な解釈と含蓄について考察を深める。暗黙契約論、競合市場の理論、規制と競争、内部交渉と労資関係も考慮に入れる。新古典派の実証範疇はアメリカの市場と企業であるので、日米比較をしながら講義を進める。

- オペレーションズ・リサーチ概論 (選・3・4年次) 澤 木 勝 茂
情報管理学科 7101「オペレーションズ・リサーチ概論Ⅰ」(2単位・前期)と

7102 「オペレーションズ・リサーチ概論Ⅱ」(2単位・後期)で充当。

6302 経営情報論 (選・3・4年次・4単位・通年) 山 田 進

企業など経営組織における情報化は、幾多の問題点を抱えながらも、広範囲に普及し、かつますます高度化している。

このような状況の中で、組織の人々が好むと好まざるとを問わず、情報システムに深く関わってくる。

経営における情報化の現状と問題点、そしてこれからの動向をいくつかの視点から見てみよう。

この授学では次のトピックスについて学習してゆく。

1. 経営管理と情報システム (高度情報化社会と新しい経営管理)
2. 経営情報システムの発展段階
3. オフィスオートメーションと知性の増幅
4. データベースと情報資源管理
5. 戦略情報システム (SIS)
6. 人工知能とエキスパートシステム
7. 情報システムの高度化とシステムセキュリティ

6305 情報処理概論 (選・3・4年次・4単位・通年) 村 本 正 生
6306 (Basic) 1・2

学習しやすいプログラミング言語の一つである Basic を取り上げ、プログラミングの基礎を学ぶ。Basic の全体像をとらえた後、Basic に備わっている基本関数を利用して問題解決 (文字処理、統計処理など) を行う。同時に、事務機器を利用していろいろな仕事をするための橋渡しをする。

6307 情報処理概論 (選・3・4年次・4単位・夏期集中) 井 垣 伸 子
(Fortran)

利用者の立場から、コンピュータに対する理解あるいは自信を深めたい学生、コンピュータに興味をもてるようになりたい学生を対象に、FORTRAN プログラミングを中心とする情報処理を概説する。

この講義の目的は、次の3つである。

- (1) コンピュータの操作に慣れること
- (2) コンピュータに関するいろいろな概念を掴むこと
- (3) プログラミングの基本的なテクニックを修得すること

受講者には、無味乾燥なルールの山を汗と涙で乗り越えて、プログラミングの面白さを味わうレベルまで是非到達して欲しいと思う。

6308 情報処理概論 (選・3・4年次・4単位・通年) 山 田 進
(Cobol)

(パソコンコボルと演習)

COBOL によるプログラミングを初心者を前提に、パソコン (PC9801) を使用して演習中心に学習する。

主な学習項目は、次のようなことである。

- ・MS-DOS とパソコン操作の基本
- ・簡単なプログラミング作成 (DISPLAY, ACCEPT)
- ・4つの DIVISION とデータ定義
- ・制御論理と演算処理 (PERFORM, IF THEN ELSE, COMPUTE)
- ・COBOL に於けるファイル処理
- ・帳票出力の基本処理 (印刷編集、頭書き、改頁)
- ・簡単な統計表の作成
- ・テーブル索引とその応用
- ・ファイルマッチング

* 授業運営、機器施設の制約から受講者を50名程度に限定する。

登録する学生は、最後まで学習する意欲のある学生に限る。

6309 情報処理概論 (選・3・4年次・4単位・通年) 村 本 正 生
(Pascal)

Pascal は、チューリッヒ工科大学 (スイス) の Wirth 教授が設計したプログラミング言語である。この言語は、系統的にプログラムを設計したり、アルゴリズムを記述したりするのに適している。プログラミングを初めて学ぶ人にも容易に理解でき、プログラミングの本質を習得するのに適していると高く評価されている。本講義では、プログラミングに関して未経験でも理解できるレベルから始める。計算機の基本的な概念を学び、小さなプログラムから次第に大きなプログラムを作ることへと進めていく。

5835 民法 I 1 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 柳 澤 秀 吉
経済学部5835「民法 I 1」参照。

5836 民法 I 2 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 本 城 武 雄
経済学部5836「民法 I 2」参照。

5845 民法 II (選・3・4年次・4単位・通年) 松 倉 耕 作
経済学部5845「民法 II」参照。

5851 商 法 I (選・3・4年次・4単位・通年) 篠 田 四 郎
経済学部5851「商法I」参照。

5855 商 法 II (選・3・4年次・4単位・通年) 篠 田 四 郎
経済学部5855「商法II」参照。

5861 労 働 法 (選・3・4年次・4単位・通年) 平 川 亮 一
経済学部5861「労働法」参照。

6351 時 事 英 語 (選・3・4年次・4単位・通年) K. Yasuda
(General Topics)

6352 時 事 英 語 (選・3・4年次・4単位・前期) D. McCreath
(Newspapers)

6353 時 事 英 語 (選・3・4年次・4単位・後期) D. McCreath
(Magazines)

6356 英語CD1 (選・2・3・4年次・2単位・通年) 香 取 真理子
英米科 2901「英語II訳読」を参照。

6357 英語CD2 (選・2・3・4年次・2単位・通年) 平 出 昌 嗣
イスパニヤ科 3372「英語b訳読」を参照。

6401 現代産業論 (選・3・4年次・2単位・前期)
6402 後期) 並 木 友
(損害保険論) 1・2

現代社会において損害保険は、企業・団体・個人の諸活動に不可欠な役割を果たすとともに金融界における影響力を増しつつある。また世界の損害保険マーケットにおける日本の地位向上も目覚ましいものがある。

本講座では下記諸点を中心として損害保険の実務・実態をベースにその理論を連結させ、損害保険事業に対する正しい認識を習得しようとする。

- (1) その原理、仕組み、機能を、法律学、経済学、経営学等の視点から多角的なアプローチを行う。
- (2) 日本損害保険業界の現状分析と主要商品についての研究および役割を検証する。
- (3) 金融業界における損害保険の地位と資産運用の現状および将来を展望する。
- (4) 国際化の現状と世界の損害保険市場の研究を行う。

配布資料：『日本の損害保険ファクトブック（1991年版）』（日本損害保険協会）

テキスト：『図説 日本の損害保険』（大蔵省銀行局保険2課編、財務詳報社）

参 考 書 : 『損害保険読本 (第3版)』(長崎正造、高木秀卓編 東洋経済新報社)

6403 現代産業論 (選・3・4年次・2単位 前期) 奥 野 賢 造
6404 後期

(総合商社論) 1・2

国際化の先兵として日本の経済発展に大きな貢献をして来た総合商社の活動を学ぶ。

具体的には

- (1) 総合商社の発生・発展の歴史、その間における商社機能の進化・複合化の軌跡、現在の総合商社が直面している諸問題について検討
- (2) 更に、商社の内部での仕事の具体的な流れや、海外駐在員の生活の実際などにも触れ
- (3) ケース・スタディとして商社の経営上の問題の分析や、外から講師を招いての実際プロジェクトの生々しい体験談など (数多くのビデオ併用)

種々異なった角度から総合商社の実体を解明する。

最初の時間にレジメと資料を配布し、それに沿って授業を進める。

6411 現代産業論 (選・3・4年次・2単位 前期) 若 林 直 樹
6412 後期

(電子・電機産業論) 1・2

エレクトロニクス産業論

一般に、エレクトロニクス産業とは、電子機器、電機機器、通信機器、電子計算機、電子部品、冷凍空調機器など、きわめて多岐に亘る機器やシステムに関与しており、それぞれに独自の業界を形成している。これらを一括して、可能な限り包括的に、過去と将来について、その歴史的推移、並びに主力商品の成長のプロセス等、特に戦後に重点をおいた“業界の実証的回顧”を、産業論のガイダンスとしてこれを解説する。次いで、日本経済の将来に大きく貢献するであろうと期待されている、エレクトロニクス産業の“今日の課題”更には、その産業構造や市場構造、貿易摩擦や海外工場進出等の、現実的な各論にまで発展すべきであろうと考える。したがって主として、時系列的に業界を回顧することによって、業界先人の業績を検証した上で、業界が生成発展してきたプロセスを正しく認識し、将来に向けて内包している諸々の課題を取り上げることによって、エレクトロニクス産業の過去と将来に亘って、学生諸兄の一層の理解を深める努力をしたい。

テキスト : 『家電産業・成長の軌跡』(電波新聞社、若林直樹著)

6413 現代産業論 (選・3・4年次・2単位・前期)
6414 後期

榎 本 幸 一

(自動車産業論) 1・2

自動車産業は、主な先進国において基幹産業と位置づけられている。また近年は、新興生産国の台頭も著しい。

世界の自動車産業の歴史・現状・将来展望をタテ軸に、市場、マーケティング、生産、輸出と海外生産、社会・環境問題と技術開発、産業構造など自動車産業の諸課題について論ずる。

6415 現代産業論 (選・3・4年次・2単位・前期)
6516 後期

高 木 夏 樹

(都市銀行論) 1・2

現代銀行証券論

最近の都市銀行の収益構造、変化する経営環境、広がる銀行の業務分野と新戦略などをできるだけ最近時点で研究する。また、都市銀行以外の証券や信託銀行、長期信用銀行など他の銀行、およびノンバンクといった都市銀行の競争相手の金融機関についても検討を加えたい。

参 考 書：講義の途中で随時紹介するが、職講者の理解を助けるために、できるだけ新しい図書を教科書として採用する予定。

配布資料：レジュメ、最新の統計などを講義に際して配布する。

6417 現代産業論 (選・3・4年次・2単位・前期)
6418 後期

早 川 淳一郎 他

(先輩経営者と語る) 1・2

南山大学の卒業生で、企業経営の第一線でオーナー経営者として活躍している先輩が学生に語りかける。創業者あり、2代目経営者ありの布陣であるとともに、スモール・ビジネスのオーナーであるが、いずれも日々の判断がその企業に大きな影響をもつ人達が豊富な経験にもとづいて講義する。なお、前期の日程、講師、テーマは下記の通りであるが、後期もおおむね同じである。1クラス80名前後の履修者数とする。

	講 義 日	講 師	会 社 名	役職	講 義 名
		卒業年次	業 種		
1	4月13日	早 川 淳一郎 S31社	愛知木材㈱ 住宅・木材製品	社長	私の経営雑感
2	4月20日	杉 山 正 行 S31社	ユニバーサル貿易㈱ 機械工具輸入	社長	欧米企業家の戦前と戦後
3	4月27日	志 水 篤 彦 S43営	エスエス工業㈱ 照明器具	社長	実践リーダーシップ教室

	講義日	講 師	会 社 名	役職	講 義 名
		卒業年次	業 種		
4	5月11日	脇 坂 豊 S38仏	東報防災工業(株) 消防施設工事	社長	光と影 —中小企業の 実践的経営—
5	5月18日	清 家 忠 男 S43経	スーパーサンシ(株) 食品・日用品	常務	ア리가象を倒す —優良 中小企業の時代到来—
6	5月25日	山 口 道 夫 S44米	つばめタクシー(株) タクシー	専務	タクシーは情報の玉手 箱
7	6月1日	小 泉 寿 子 S44仏	プロンプト(株) コンピュータ教育	社長	仕事っておもしろい! —コンピュータとの出会い—
8	6月8日	奥 村 洋 S45経	アインス(簡) 喫茶飲食	社長	飲食の変遷
9	6月15日	加 藤 博 明 S45営	プロテックス(株) 写真製版・印刷	社長	まちがい —失敗論—
10	6月22日	尾 関 和 成 S47営	旬柏彌紙店 美術・小間紙	社長	のれん(伝統)のおもさ —現在奮闘中—
11	6月29日	九 鬼 綾 子 S53米	ミックインターナショナル(株) 外国語サービス	社長	資本金100万円でつくっ た会社
12	7月6日	佐々木 功 S42営	サンボッカサービス(株) 自動販売機商社	社長	つまるところ 人と人

6451 国際ビジネス論 (選・1年次・4単位・通年)

加 藤 清

身近な国際ビジネスの諸現象についての理解を通じて、国際ビジネスに対する興味を喚起し、国際マインドを育成する事を目的とする。先ず国際ビジネス慣行を理解・判断するための種々の枠組(例:貿易理論、発展理論、収斂仮説、文化相対主義)を紹介し、次に貿易摩擦、外国人労働者、海外進出企業の雇用問題・現地化・技術移転、発展途上国の環境保護、政府によるODA等国内・国外の種々の国際ビジネス現象について考える。

テキストは使用せず、種々の日本語及び英語学術論文、専門的評論及び経済・ビジネス雑誌記事による。

6461 国際経営研究Ⅰ $\frac{1}{2}$ (選・3年次・2単位・後期)

加 藤 清

大 津 誠

このクラス及び国際経営研究Ⅱを通じて、国際経営の分野における英文による研究論文の読解を目的とする。多くの研究論文、主として実証研究論文は一定の研究方法论にしたがって作成されている。したがってこのクラスではこれらの論文を理解するための第一歩として、経営学の標準的研究方法について学ぶ。主なトピックスは問題設定、文献調査、仮説設定、データ収集、データ分析など。

テキスト : C. William Emory, *Business Research Methods* (4rd. ed.)
Irwin, 1991.

なお、テキストはクラスによって変更される可能性があります。

6466 国際経営研究Ⅱ 1 (選・4年次・4単位・通年) M. Bremer

This seminar is intended to prepare students to write a major research paper. It will study basic business research methods. Students will make formal presentations and participate in discussions of business problems. Although this seminar will study business management in general, the course will emphasize international financial management where applicable. Students are required to read business periodicals and to keep up to date with current economic events.

6467 国際経営研究Ⅱ 2 (選・4年次・4単位・通年) 加藤 清

各々の学生が国際ビジネスに関するトピックをひとつ選び、それについて英語で卒業論文を書けるようにする。

6501 A
6502 B
6503 英語Ⅰ C (読解および作文) (選必・1年次・4単位・通年)
6504 D

(国際コース用)

{K. Ryan
D. Dunkley
J. Mainland
P. LaForge

Reading and Writing I

The purpose of this course is to develop high-level skills in academic reading and writing, including preparation for the Test of English as a Foreign Language (TOEFL). The reading component includes practice in intensive, extensive, rapid, and critical reading. Vocabulary improvement, study skills training, and other reading skills will also be covered. The writing component includes practice in sentence structure, paragraph, journal, and essay writing. Basic business writing (memos, letters) may also be included. As a general rule, all homework must be typed.

6506	A		
6507	B		
6508	C	英語Ⅱ (読解および作文) (選必・2年次・4単位・通年)	
6509	D	(国際コース用)	J. Mainland L. Guishard D. Rines {K. Yasuda D. McCreath

Reading and Writing II

See description for Reading and Writing I.

6511	1		
6512	2		
6513	3	英語Ⅲ (論文作成法) (選必・3年次・4単位・前期・後期)	
6514	4	(国際コース用)	D. Rines M. LaForge

Academic Writing

The purpose of this course is to develop skill in research paper writing. Accordingly, the course involves integrated practice in reading, thinking, discussion, and writing. Library research and documentation of sources will be emphasized. Students may make an oral presentation of their research findings at the end of course. As a general rule, all homework must be typed, including the final paper.

6516	1		
6517	2		
6518	3	テーマ・ディスカッション (選必・3年次・4単位・前期・後期)	
6519	4	(国際コース用)	D. Rines M. LaForge

Theme Discussion

The purpose of this course is to develop high-level discussion and oral presentation skills needed for success in university classes and the business world. Accordingly, the course involves integrated practice in reading, thinking, discussion, and writing. Critical thinking and analytical skills will be emphasized. Topics will include themes in international management and cross-cultural communication among others. As a general rule, all homework must be typed.

- 6521 英語論文作成指導^A (選必・4年次・2単位・後期) M. Bremer
6522 ^B [国際コース用] J. Mainland

Thesis Tutorial

The purpose of this course is to assist students who are writing their graduation thesis in English. Activities include individual and group instruction in planning, researching, writing, revising, and editing the thesis. Typing is required.

- 6531 英会話 I ^A (選・1年次・2単位・通年) L. Guishard
6532 ^B P. Wringer

English Conversation 1

These courses are for students who want to practice listening and speaking skills. Activities may include the following : group discussions of various topics, discussion of short reading passages or articles, inter-views, role plays, impromptu speeches, short formal speeches, question and answer practice, listening to audio tapes, watching and responding to video tapes, oral practice drills, short written exercises, etc. Some homework is required. Enrollment is limited to 25 students. English Conversation II students must have received at least a "B" grade in *Sogo Eigo* I.

- 6535 英会話 II ^A (選・2年次・2単位・通年) M. Monaghan
6536 ^B P. Wringer

English Conversation 2

See description for English Conversation 1.

- 6541 ビジネス英語¹ (選・3・4年次・2単位・後期) S. Prue
6542 ² D. Pelyk

(Speech)

Students may take either or both sections. Content will vary depending on the instructor and ability of the class. Topics may include (1) how to give an effective business presentation using an OHP (overhead projector), blackboard, whiteboard or handout ; (2) how to conduct and participate in a business meetings including starting, contributing to, and closing the discussion ; or (3) how to conduct interviews for hiring, evaluating, and collecting data. Prerequisites : Open to 3rd and 4th year business students.

A 2.5 or higher average GPA in English I and II (Conversation) or *Sogo English I and II*, or the approval of the instructor. A TOEFL Section I (Listening Comprehension) score of 48 or higher is strongly recommended. Enrollment : Limited to 40 students each.

1591 フランス語Ⅱ (選・2・3・4年次・2単位・通年) 栗 須 公 正
1592 演 名 優 美
仏文学科1591「フランス語Ⅱ講読」
1592「フランス語Ⅱ会話」を参照。

1595 上級フランス語Ⅰ (選・3・4年次・2単位・通年) 練 尾 毅
仏文学科1595「上級フランス語Ⅰ」を参照。

1596 上級フランス語Ⅱ (選・3・4年次・2単位・通年) 練 尾 毅
仏文学科1596「上級フランス語Ⅱ」を参照。

1690 ドイツ語Ⅱ (選・2・3・4年次・2単位・通年) 櫻 井 健 吾
1692 A. Plum
独文学科1690「ドイツ語Ⅱ訳読」
1692「ドイツ語Ⅱ会話」を参照。

1695 上級ドイツ語Ⅰ (選・3・4年次・2単位・通年) 伊 藤 秋 男
独文学科1695「上級ドイツ語Ⅰ」を参照。

1696 上級ドイツ語Ⅱ (選・4年次・2単位・通年) 伊 藤 秋 男
独文学科1696「上級ドイツ語Ⅱ」を参照。

3901 イスパニヤ語Ⅱ (選・2・3・4年次・2単位・通年) 芝 修 身
3902 E. Goicoechea
イスパニヤ科3901「イスパニヤ語Ⅱ講読」
3902「イスパニヤ語Ⅱ会話」を参照。

3911 上級イスパニヤ語Ⅰ (選・3・4年次・2単位・通年)
イスパニヤ科3911「上級イスパニヤ語Ⅰ」を参照。

3915 上級イスパニヤ語Ⅱ (選・3・4年次・2単位・通年)
イスパニヤ科3915「上級イスパニヤ語Ⅱ」を参照。

3921 ブラジルポルトガル語Ⅱ (選・2・3・4年次・2単位・通年)
イスパニヤ科3921「ブラジルポルトガル語Ⅱ」を参照。 富 野 幹 雄

3925 上級ブラジルポルトガル語Ⅰ（選・３・４年次・２単位・通年） 富野 幹雄
イスペインヤ科3925「上級ブラジルポルトガル語Ⅰ」を参照。

5521 国際経済学（選・３・４年次・４単位・通年） 山田 正次
経済学部 5521「国際経済学」参照。

5523 開発経済学（選・３・４年次・４単位・通年） 林 尚志
経済学部 5523「開発経済学」参照。

5585 経済体制論（選・３・４年次・４単位・通年） 家本 博一
経済学部 5585「経済体制論」参照。

国際法（選・３・４年次・４単位・通年） 岡田 泉
法学部 8120「国際法Ⅰ」参照。

8395 国際取引法（選・３・４年次・２単位・夏期集中） 佐野 寛
法学部 8395「国際取引法」参照。

8470 国際政治学（選・３・４年次・４単位・通年）
法学部8470「国際政治学」参照。

6901 職業指導１（自・３・４年次・４単位・通年） 藤原 道夫
経営学部生は6116「経営労務論１」で充当。

6902 職業指導２（自・３・４年次・４単位・前期） 大津 誠
経営学部生は6117「経営労務論２」で充当。

9091 商業科教育法Ａ（随・３・４年次・２単位・前期） 安藤 明之
現在のサービス経済化、国際化、情報化に代表される産業経済の変化は、産業構造、就業構造、消費構造の面などに著しい変化を及ぼし、商業教育の改善が進められている。

ここでは、商業教育の理念および概要をはじめ、商業経済、簿記会計および情報処理の各分野についてそれぞれ具体的に学ぶ。

- 9092 商業科教育法Ｂ（随・３・４年次・２単位・夏期集中） 安藤 明之
1. 高等学校教育課程の基礎
 2. 商業科教育について

【情報管理学科】（1990年度以降に入学した学生に適用）

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
	必 修 科 目					
7001 7002	基 礎 数 学 I	1	必	2	松 澤 忠 人	前期
7003 7004	基 礎 数 学 II	1	必	2	松 澤 忠 人	後期
7005	基 礎 数 学 III	1	必	2	後 藤 邦 夫	前期
7006					松 田 眞 一	前期
7007	基 礎 数 学 IV	2	必	2	春 藤 修 二	前期
7008					小 野 貴 生	前期
7011 7012	統 計 的 方 法 I	1	必	2	木 村 美 善	後期
7013 7014	統 計 的 方 法 II	2	必	2	松 田 眞 一	前期
7021	情 報 処 理 I	1	必	2	真 野 芳 久	前期
7022					村 本 正 生	前期
7023					野 呂 昌 満	前期
7025	情 報 処 理 II	1	必	2	真 野 芳 久	後期
7026					村 本 正 生	後期
7027					野 呂 昌 満	後期
7031	英 語 文 献 講 読	1	必	2	春 藤 修 二	
7032					宮 元 忠 敏	
7033					鈴 木 敦 夫	
7034					松 田 眞 一	
7041	演 習 I	3	必	4	木 村 美 善	
7042					真 野 芳 久	
7043					村 本 正 生	
7044					澤 木 勝 茂	
7045					春 藤 修 二	
7046					後 藤 邦 夫	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
7047 7048 7049	演 習 I	3	必	4	宮 元 忠 敏 野 呂 昌 満 鈴 木 敦 夫	
7051 7054	情 報 実 習 I	3	必	2	後 藤 邦 夫 真 野 芳 久 澤 木 勝 茂 野 呂 昌 満 鈴 木 敦 夫	前期
7056 7059	情 報 実 習 II	3	必	2	松 田 眞 一 後 藤 邦 夫 真 野 芳 久 澤 木 勝 茂 野 呂 昌 満 鈴 木 敦 夫	後期
7061 7062 7063 7064 7065 7066 7067 7068	演 習 II	4	必	4	木 村 美 善 真 野 芳 久 村 本 正 生 澤 木 勝 茂 春 藤 修 二 後 藤 邦 夫 野 呂 昌 満 鈴 木 敦 夫	
7071 7072 7073 7074 7075	卒 業 論 文	4	必	4	木 村 美 善 真 野 芳 久 村 本 正 生 澤 木 勝 茂 春 藤 修 二	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
7076	卒 業 論 文	4	必	4	後 藤 邦 夫	
7077					野 呂 昌 満	
7078					鈴 木 敦 夫	
	選択必修科目					
7101	オペレーションズ・ リサーチ概論Ⅰ	2	選 ~~必~~	2	澤 木 勝 茂	前期
7102	オペレーションズ・ リサーチ概論Ⅱ	2	選 ~~必~~	2	澤 木 勝 茂	後期
7111	情 報 数 理 Ⅰ	2	選 ~~必~~	2	小 野 貴 生	前期
7112	情 報 数 理 Ⅱ	2	選 ~~必~~	2	小 野 貴 生	後期
7116	基 礎 数 学 V	2	選 ~~必~~	2	春 藤 修 二	後期
7117					小 野 貴 生	後期
7121	情 報 処 理 Ⅲ	2	選 ~~必~~	2	真 野 芳 久	前期
7122					村 本 正 生	前期
7123					野 呂 昌 満	前期
7125	情 報 処 理 Ⅳ	2	選 ~~必~~	2	真 野 芳 久	後期
7126					村 本 正 生	後期
7127					野 呂 昌 満	後期
7131	情報科学概論Ⅰ	2	選 ~~必~~	2	福 村 晃 夫	前期
7132	情報科学概論Ⅱ	2	選 ~~必~~	2	福 村 晃 夫	後期
7135	会 計 原 理	2	選 ~~必~~	4	藤 井 達 敬	
6006	経 済 原 論 1	2	選 ~~必~~	4	水 谷 重 秋	
6007	経 済 原 論 2	2	選 ~~必~~	4	辻 正 次	
6131	経 営 財 務 論 1	3	選 ~~必~~	4	飯 原 慶 雄	
6132	経 営 財 務 論 2	3	選 ~~必~~	4	M. Bremer	後期
6104	経 営 学 総 論	3	選 ~~必~~	4	岸 田 民 樹	前期+夏期集中
	選択科目Aグループ					
7201	数 理 統 計 学 Ⅰ	2	選	2		本年度休講

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
7202	数 理 統 計 学 II	2	選	2	松 田 眞 一	後期
7206	数 理 計 画 法 I	3	選	2	福 島 雅 夫	} 夏期集中
7207	数 理 計 画 法 II	3	選	2	福 島 雅 夫	
7211	確 率 モ デ ル	3	選	2	澤 木 勝 茂	前期
7213	決 定 分 析	3	選	2	澤 木 勝 茂	後期
7215	制 御 理 論	3	選	2	鈴 木 正 之	前期
7216	シミュレーション	3	選	2	後 藤 邦 夫	後期
7221	シ ス テ ム 設 計 I	3	選	2	鈴 木 敦 夫	前期
7222	シ ス テ ム 設 計 II	3	選	2	鈴 木 敦 夫	後期
7225	シ ス テ ム 監 査 I	3	選	2	山 田 進	前期
7226	シ ス テ ム 監 査 II	3	選	2	山 田 進	後期
7231	通 信 シ ス テ ム I	3	選	2	後 藤 邦 夫	前期
7232	通 信 シ ス テ ム II	3	選	2	後 藤 邦 夫	後期
7241	情 報 論 理 I	3	選	2	春 藤 修 二	前期
7242	情 報 論 理 II	3	選	2	春 藤 修 二	後期
7261	デ ー タ ベ ース I	3	選	2		本年度休講
7262	デ ー タ ベ ース II	3	選	2		本年度休講
7245	情 報 倫 理 I	3	選	2		本年度休講
7246	情 報 倫 理 II	3	選	2		本年度休講
7235	情 報 シ ス テ ム I	3	選	2	杉 原 厚 吉	} 夏期集中
7236	情 報 シ ス テ ム II	3	選	2	杉 原 厚 吉	
7251	情報・通信科学論 I	3	選	2	真野 芳久 他	前期 } 隔週
7252	情報・通信科学論 II	3	選	2	澤木 勝茂 他	後期 }
7266	ア ル ゴ リ ズ ム 論	3	選	2	鈴 木 敦 夫	後期
7267	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	3	選	2	野 呂 昌 満	前期
7268	オペレーティングシステム	3	選	2	和 田 幸 一	後期
7269	プログラミング言語処理	3	選	2	真 野 芳 久	前期
7256	応 用 数 学 I	3	選	2	春 藤 修 二	後期

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
7257	応 用 数 学 II	3	選	2	玉 置 光 司	夏期集中
7271	多 変 量 解 析 I	3	選	2		本年度休講
7272	多 変 量 解 析 II	3	選	2	木 村 美 善	後期
7275	デ ー タ 解 析 I	3	選	2	阪 本 雄 二	前期
7276	デ ー タ 解 析 II	3	選	2	阪 本 雄 二	後期
7282	情 報 科学特殊問題 (生成系による言語処理)	3	選	2	野 呂 昌 満	後期
7283	情 報 科学特殊問題 (社会調査法—数量化Ⅱ類)	3	選	2	村 上 征 勝	夏期集中
選択科目Bグループ						
6401	現 代 産 業 論	2	選	2	並 木 友	前期
6402	(損害保険論)1・2					後期
6403	現 代 産 業 論	2	選	2	奥 野 賢 造	前期
6404	(総合商社論)1・2					後期
6411	現 代 産 業 論	2	選	2	若 林 直 樹	前期
6412	(電子・電機産業論)1・2					後期
6413	現 代 産 業 論	2	選	2	榎 本 幸 一	前期
6414	(自動車産業論)1・2					後期
6415	現 代 産 業 論	2	選	2	高 木 夏 樹	前期
6416	(都市銀行論)1・2					後期
6417	現 代 産 業 論	2	選	2	早川淳一郎他	前期
6418	(先輩経営者と語る)1・2					後期
5502	計 量 経 済 学	3	選	4	近 藤 仁	
6116	経 営 労 務 論 1	3	選	4	藤 原 道 夫	
6117	経 営 労 務 論 2	3	選	4	大 津 誠	前期
6201	経 営 組 織 論	3	選	4	渡 辺 直 登	
5821	財 務 会 計 論	3	選	4	藤 井 達 敬	
6121	経 営 史	3	選	4	和 田 一 夫	
6126	企 業 論	3	選	4	成 生 達 彦	
6136	マ ー ケ テ ィ ン グ 論	3	選	4	中 田 善 啓	隔週
6211	投 資 論	3	選	4	加 藤 清	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6213	国 際 財 務 論	3	選	4	M. Bremer	後期
6221	流 通 論	3	選	4	成 生 達 彦	隔週
7324	経 営 分 析	3	選	4	大 雄 令 純	
6251	多 国 籍 企 業 論	3	選	4	A. Iaquinto	前期
6356	英 語 C D 1	3	選	2	香 取 真理子	
6357	英 語 C D 2	3	選	2	平 出 昌 嗣	
6351	時 事 英 語 (General Topics)	3	選	4	K. Yasuda	
6352	時 事 英 語 (Newspapers)	3	選	4	D. McCreath	前期
6353	時 事 英 語 (Magazines)	3	選	4	D. McCreath	後期
6901	職 業 指 導 1	3	選	4	藤 原 道 夫	「経営労務論」 で充当
6902	職 業 指 導 2	3	選	4	大 津 誠	前期「経営労務 論」で充当
6264	経 営 学 特 殊 問 題 (財務報告論)	3	選	4	鎌 田 信 夫	
6266	経 営 学 特 殊 問 題 (日本経営史)	3	選	4	石 川 健次郎	夏期集中
6267	経 営 学 特 殊 問 題 (金融派生商品)	3	選	4	飯 原 慶 雄	
6270	経 営 学 特 殊 問 題 (経営数学)	3	選	4	皆 川 正	
6271	経 営 学 特 殊 問 題 (企業金融の理論)	3	選	4	倉 澤 資 成	夏期集中
6272	経 営 学 特 殊 問 題 (E C 経済論)	3	選	4	渡 邊 頼 純	
6273	経 営 学 特 殊 問 題 (国際関係論)	3	選	4	菊 池 努	
6274	経 営 学 特 殊 問 題 (データ解析)	3	選	4	成生達彦 他	
6281	経 営 学 特 殊 問 題 (Japanese Business)	3	選	4	A. Iaquinto	後期
6282	経 営 学 特 殊 問 題 (Business in North America)	3	選	4	M. Bremer	前期

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
6283	経営学特殊問題 (Data Analysis)	3	選	4	T. Jitodai	前期
6284	経営学特殊問題 (American Society)	3	選	4	T. Jitodai	後期
6285	経営学特殊問題 (国際経営戦略論)	3	選	4	A. Iaquinto	後期
6286	経営学特殊問題 (World Population Problems)	3	選	4	T. Jitodai	後期
6291	経営学特殊問題 (経営倫理)	3	選	2	P. LaForge	後期
6292	経営学特殊問題 (日米の労働問題)	3	選	4	大 津 誠	
6293	経営学特殊問題 (日本の経済と市場)	3	選	4	宮 崎 元	夏期集中
	随 意 科 目					
9091	商業科教育法 A	3	随	2	安 藤 明 之	前期
9092	商業科教育法 B	3	随	2	安 藤 明 之	夏期集中
9095	数 学 科 教 育 法	3	随	4	小 野 貴 生	

科目
履修
と
修
と。

【経営学部情報管理学科】

講義概要

7001 基礎数学Ⅰ（線形代数）（必・1年次・2単位・前期） 松澤 忠人
7002

「基礎数学Ⅱ」と合わせ線形代数学の基礎について講義する。基礎数学Ⅰでは、連立一次方程式論を通して行列式論と行列について講義する。

7003 基礎数学Ⅱ（線形代数）（必・1年次・2単位・後期） 松澤 忠人
7004

7001 7002「基礎数学Ⅰ」の内容を受け継ぎ、一般の線形空間における線形写像の理論が行列論とどの様に係わるかを論じる。また、時間に余裕があれば、行列の標準形の問題（固有値と固有ベクトル）についても講義する。

7005 基礎数学Ⅲ（確率論）（必・1年次・2単位・前期） 後藤 邦夫

7006 基礎数学Ⅲ（確率論）（必・1年次・2単位・前期） 松田 眞一

確率論の基本的事項について平易に解説する。高校での「確率・統計」の知識を前提としない入門コースであり、応用についても配慮しながら講義する。主な内容は次の通りである。

1. 確率の定義と基本的性質
2. 確率変数と期待値
3. 確率分布とその例

7007 基礎数学Ⅳ（解析学）（必・2年次・2単位・前期） 春藤 修二

教養科目「数学」（微分積分）の内容を受け継ぎ、解析学の基礎を講義する。主として積分論の続きを扱う予定。

テキスト：栗田 稔「基礎教養微分積分学」（学術図書出版）

7008 基礎数学Ⅳ（解析学）（必・2年次・2単位・前期） 小野 貴生

教養科目「数学」（微分積分）の内容を受け継ぎ、解析学の基礎を講義する。主として常微分方程式論を扱う。

7011 統計的方法Ⅰ（必・1年次・2単位・後期） 木村 美善
7012

現代統計学の基本的概念と手法について講義し、統計的なものの見方・考え方を理解してもらうことを目的とする。統計的データの記述法について学んだ後、標本

に基づく推測統計学へと進む。

7013 統計的方法Ⅱ (必・2年次・2単位・前期) 松田 眞一
7014

「統計的方法Ⅰ」の内容を受け継ぎ、推測統計学の学習をさらに進める。現代統計学の基本的理論とその考え方・応用の仕方について理解してもらうことが目的である。

7021	情報処理Ⅰ	(必・1年次・2単位・前期)	真野 芳久
7022	情報処理Ⅰ	(必・1年次・2単位・前期)	村本 正生
7023	情報処理Ⅰ	(必・1年次・2単位・前期)	野呂 昌満
7025	情報処理Ⅱ	(必・1年次・2単位・後期)	真野 芳久
7026	情報処理Ⅱ	(必・1年次・2単位・後期)	村本 正生
7027	情報処理Ⅱ	(必・1年次・2単位・後期)	野呂 昌満

計算機は情報処理にとって必要不可欠の存在となっている。ここでは、計算機の動きを理解し、計算機を使って種々のことを行なうことができるよう、

- (1) 計算機の基本構造や動作原理
- (2) 計算機を利用する上で必要な諸概念
- (3) 系統的プログラミング言語 Pascal を使用して、プログラミングに必要な諸概念や手法、を学ぶ。

(1)に関しては

- ・計算機システムの種類、構成
- ・計算機内部での命令やデータの表現方法
- ・機械語やアセンブリ言語の具体列

等があり、(2)に関しては、

- ・ファイル
- ・コマンド
- ・オペレーティングシステム、言語処理系、エディタ等のソフトウェアの役割

等があり、(3)に関しては、

- ・プログラミング言語の定義書の読み方
- ・プログラム構造、入出力、選択、繰返し
- ・データ型とデータ構造
- ・手続き、関数

等がある。

計算機に触れることによって理解を高められる形で講義を進めていく。

レポートが多く、十分な自習時間をとることが必須である。

- 7031 英語文献講読 (必・1年次・2単位・通年) 春 藤 修 二
論理数学に関する書物を輪読形式で読む。テキストは未定。

- 7032 英語文献講読 (必・1年次・2単位・通年) 宮 元 忠 敏
Kenneth A. Ross, Charles R. B. Wright, DISCRETE MATHEMATICS
We study the basic noncalculus mathematics a computer science student needs. Some of the material is algebra, some is logic, some is combinatorics or graph theory. We assume no previous experience in the subject.

- 7033 英語文献講読 (必・1年次・2単位・通年) 鈴 木 敦 夫
数理科学に関する軽い読み物を一冊、輪読形式で読む。テキストは未定。

- 7034 英語文献講読 (必・1年次・2単位・通年) 松 田 眞 一
Paul G. Hoel, INTRODUCTION TO MATHEMATICAL STATISTICS,
John Wiley & Sons, 1984.
統計学の入門書を輪読形式で読む。

- 7041 演 習 I (必・3年次・4単位・通年) 木 村 美 善
【統計学、多変量解析法とその応用】
このゼミでは現代統計学の諸理論をさらに進んで学ぶとともに、コンピュータを活用してその幅広い応用について研究するつもりである。3年次では共通のテキスト・論文・資料(発語文献も含む)を学びながら同時に、コンピュータを利用し統計的方法の応用について共同研究する。コンピュータによる統計解析についてはデータ解析とグラフィックスのための対話型環境である「Sシステム」や「SPSSX」などの各種統計パッケージを利用する。できれば3年の後期から卒論テーマを絞り、数名ずつのグループ単位で研究する方法を採用して卒論作成へと進めたい。
卒論のテーマとしては多変量解析法の幅広い応用分野の中から選択してもらうつもりである。研究対象の中には教育、心理や世論調査におけるトピックも含まれる。

- 7042 演 習 I (必・3年次・4単位・通年) 真 野 芳 久
【計算機科学】

プログラミング練習を行なうことでプログラミング力を向上させながら、プログラミングという創造的な活動を支援する諸概念、理論、手法、およびソフトウェアシステムの役割や構造を学ぶ。具体的には、

- ・プログラミング環境を構成する諸システム、
- ・プログラミング言語の持つ諸機能、諸概念

- ・プログラミング定法の諸概念、
 - ・小さなコンパイラのソースプログラムを読むことによるコンパイラの構造や処理内容の理解、
- について、担当者が文献の関連部分を読み発表してもらおう。

7043 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 村本正生

【情報処理】

プログラミングが高度な集中力と天才的なひらめきを必要とする職人芸といわれた時代は終わり、現在では系統的に物事を考える能力こそが良いソフトウェアを作る基礎と認識されている。ゼミでは、ソフトウェア開発の基礎となるアルゴリズム、データ構造、基本的なプログラミング技法、また最新の情報処理技術について学ぶ。以下は候補にしているテキストである。

- 1) Lisp に関する書物 David Touretzky 著 Common Lisp: A Gentle Introduction to Symbolic Computation

湯浅太一著 Scheme 入門、岩波書店

- 2) Prolog に関する書物 Clocksin & Mellish 著 Programming in Prolog

- 3) Pascal に関する書物 Samuel Kamin 著 Programming Languages An Interpreter-Based Approach

その他、進度によって、専門雑誌、資料などを利用することにもなる。

4年次を書く卒業論文は、Pascal, C, Lisp, Prolog などのプログラミング言語を使用して、システムを作成することになる。

7044 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 澤木勝茂

【オペレーションズ・リサーチ】

ORの種々のモデルや手法について確率モデルを中心に勉強する。3年次では、数学的な基礎訓練に重点を置き、特定のテキストの演習問題を次から次へと解く方式でゼミを運営する。マルコフ決定過程とその応用、待ち行列とその応用、ゲーム理論とその応用、信頼性理論などについて卒業論文の指導を受けることができる。テキストは学生の背景と興味を勘案して決める予定である。

7045 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 春藤修二

【記号論理】

数学の立場から記号論理を取り扱う。記号論理の基礎となる古典論理(命題論理・述語論理)の理論は通常の数学以上に数学的に(形式的・抽象的に)展開される。

古典論理の知識の上に、興味に従っていろいろな論理（直観主義論理、多値論理、様相論理など）を学ぶ。日常言語の論理を扱うことも可能である。

7046 演習 I （必・3年次・4単位・通年） 後藤 邦夫

【通信ネットワーク、性能評価】

通信ネットワーク、計算機システム、交通システムなどを題材にとり、システムの性能評価の手法の基礎を学ぶ。通信ネットワークについては講義「通信システムⅠ・Ⅱ」でシミュレーションについては講義「シミュレーション」で勉強する。このゼミでは理論面を重視し、計算機は道具として用いるので、計算機自体、プログラミング自体に興味を持つ者には不向きである。演習Ⅰでは、ORの1分野である待ち行列理論の基礎と簡単なプログラミング演習を行う。

具体的なメニューは以下の通り、

1. 待ち行列システムの教科書（英語）の講読と、練習問題の解答。（順に発表）
2. 電子メールの発着信、ドキュメント清書など計算機の操作の練習と簡単なプログラミング演習（待ち行列、シミュレーション、通信アプリケーション）。使用用語は、C, Pascal, Simscript II.5（シミュレーション言語）など（宿題中心）。
3. 11月頃から卒業研究の分野別グループ（性能評価解析、シミュレーション、通信アプリケーション）に分かれ勉強会を行う（ゼミ時間外にもやります）。

なお、上記の2つの講義は演習Ⅰと密接な関連があるので真面目に履修することが必要である。特に演習Ⅰでは理論的側面を重視するので英語、微積分、確率の基礎能力が必要である。一方で、プログラミングについては主に宿題として演習を行い講義時には詳しく説明しないので、自分で本を読み勉強する姿勢が不可欠である。

7047 演習 I （必・3年次・4単位・後期） 宮元 忠敏

純粋数学に興味をもつ学生が1冊の数学書を読むことを通し、次の点に関しトレーニングを行うコースとする。

1. 数学の言葉、記号法、証明のやり方に慣れる。
2. 抽象的な理論に対しても論理的に対応できる力をつける。
3. 定義、定理、証明に含まれる数学的アイデアをつかむ。

各学生の興味に合わせ、教科書を選ぶこととし、基本的に1対1による指導を行うこととする。一般に数学書は行間を埋めながら読むものであり、多くの時間を必要とする。

7048 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 野呂昌満

【ソフトウェア工学におけるオブジェクト指向計算】

ソフトウェア工学とその周辺の問題にオブジェクト指向の考え方が如何に適用できるかを考える。具体的な研究課題は、

- ソフトウェアの計測
- ソフトウェアの開発工程
- ソフトウェア開発の管理
- プログラミング言語の設計と処理(コンパイラ等)
- オペレーティングシステム
- 人工知能の応用(エキスパートシステム等)
- データベース

などである。

3年次はオブジェクト指向に関する入門書を皆で読み、同時にプログラミングをして理解を深める。4年次からは、それぞれにやりたいことを決めて、卒業研究のテーマとしてグループに分れて討論・勉強をします。

7049 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 鈴木敦夫

【データ構造とアルゴリズム】

プログラミングの基礎となるデータ構造とアルゴリズムについて勉強する。配列、スタック、キューから始まり、種々のリスト構造、木構造、ハッシングなどと、それらを用いたアルゴリズムを勉強していく予定。4年次生での卒論では、3年次で学んだことを具体的な問題に適用して解いてもらう。例えば、

- (1) ネットワークフロー問題(最小費用流問題、最大流問題、交通流の解析など)
- (2) 施設の最適配置問題
- (3) 計算幾何学とその応用(地理情報処理、VLSIの配線問題など)

7051 情報実習 I (必・3年次・2単位・前期)

後藤 邦夫	真野 芳久
澤木 勝茂	野呂 昌満
鈴木 敦夫	松田 眞一

この情報実習 I では、II と合わせて、オペレーションズ・リサーチ、システム関連、統計学、計算機科学の 4 つの分野について、それぞれの分野の教員が順次、3 から 4 回ずつ講義と実習指導を行う。最初に講義日程と学科の計算機システムに関してオリエンテーションを行い、計算機操作の実習を行う。その後、各担当者の指導のもとに、それぞれの具体的なテーマについて勉強する。担当者ごとに課題を与え、それについてレポートを提出していただく。課題の多くは、計算機を用い、与えられた問題を解決し、それに考察を加えるものである。4 つの小人数クラスに分

かれるため、クラスにより担当順は異なるが、Ⅰ、Ⅱを通しての内容は同じである。各分野の担当教員は、計算機科学（真野、野呂）、システム（後藤、鈴木）、オペレーションズ・リサーチ（澤木）、統計学（松田）である。オリエンテーションは後藤、野呂が担当する。

各担当の講義内容の概略は以下の通り。

計算機科学1（真野）3回〔データ圧縮〕

大量データの効率的な保存、データ交換における通信時間の短縮など、データ圧縮の意義は大きく、様々なところで応用されている。

ここでは、情報量の概念から始めて、データに含まれる冗長性を減少させることにより、データ圧縮を行なう理論とアルゴリズムを学ぶ。いくつかのアルゴリズムについては実際にプログラミングし、種々のタイプのデータに対して圧縮効果を実験してもらう。

計算機科学2（野呂）3回〔正規表現を用いた言語処理〕

コンパイラの字句解析部作成のための理論とその応用について講義する。具体的には、正規表現を用いて、字句を定義し、その字句を認識するプログラムを作成する。理論的な事項としては、正規表現、決定性、非決定性有限状態オートマトン、それらの間の変換アルゴリズム、オートマトンのシミュレーションアルゴリズムなどを取り扱う。

統計学（松田）4回〔統計学実習〕

統計パッケージSシステムを用いた実習で回帰分析とクラスター分析を行なう。コンピュータによる統計解析は出力結果を得る手順を把握することが目標の一つであるが、さらに出力結果の見方・考え方を培うことも目標とする。

システム1（鈴木）3回〔計算幾何学〕

計算幾何学の入門として、ボロノイ図と凸包算法について勉強する。ボロノイ図は、実際に作図をして、計算幾何学のいろいろな問題がボロノイ図を使って効率的に解けることを実感してもらう。凸包算法については、グラハムの算法かジャビスの算法を実現して、計算の手間について、考察してもらう。

システム2（後藤）3回〔数値計算入門〕

簡単な行列の計算、繰り返しによる連立方程式の解法、級数の計算などを学ぶ。離散時間マルコフ連鎖、連続時間マルコフ連鎖、デジタル音声標本のフーリエ級数展開による分析などを例にとり実際に計算を行なうプログラムを作成し、その結果を考察することを課題とする予定である。

オペレーションズ・リサーチ（澤木）4回〔OR実習〕

オペレーション・リサーチの中でマルコフ決定過程及び待ち行列、取り替え問題などの確率モデルについて説明した後、学生諸君には具体的な問題を計算機を用いて解くようなレポートを課す。

オリエンテーション（野呂、後藤）最初の3回〔計算機の使用法〕

学科の計算機システムの概要説明と、計算機の基本的な使用方法として、ログイン、テキストエディタの使用、Pascal ソースプログラムの編集とコンパイル、実行、電子メール、ネットワークニュースの使用法について実習と簡単な宿題を出す予定である。また、時間割、レポート提出要領などについてもこの時間に説明する。

7056 情報実習Ⅱ (必・3年次・2単位・後期)

7059	後 藤 邦 夫	真 野 芳 久
	澤 木 勝 茂	野 呂 昌 満
	鈴 木 敦 夫	松 田 眞 一

情報実習Ⅱでは、情報実習Ⅰに続き、4つの分野の講義と実習を行う。クラス分け、レポート課題等についてはⅠと同じである。各分野の担当教員はⅠと同じである。

7061 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 木 村 美 善

7062 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 真 野 芳 久

7063 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 村 本 正 生

7064 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 澤 木 勝 茂

7065 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 春 藤 修 二

7066 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 後 藤 邦 夫

7067 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 野 呂 昌 満

7068 演 習 Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 鈴 木 敦 夫

7071 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 木 村 美 善

7072 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 真 野 芳 久

7073 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 村 本 正 生

7074 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 澤 木 勝 茂

7075 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 春 藤 修 二

7076 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 後 藤 邦 夫

7077 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 野 呂 昌 満

7078 卒業論文 (必・4年次・4単位・通年) 鈴 木 敦 夫

7101 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅰ

(選必・2年次・2単位・前期) 澤 木 勝 茂

企業における種々の意思決定のための手法とモデルについて平易に解説する入門コースである。問題解決のための数学的方法と仕事の手順についてのアイデアを理解してもらうように工夫したいと考えている。内容は次のとおりである。

- (1) 線形計画法とその応用
- (2) 在庫管理
- (3) 動的計画法
- (4) 意思決定分析とゲームの理論

テキスト：小和田・加藤・沢木『OR入門——意思決定の基礎』(実教出版)

7102 オペレーションズ・リサーチ概論Ⅱ

(選必・2年次・2単位・後期) 澤 木 勝 茂

前期のオペレーションズ・リサーチ概論Ⅰにひきつづき、次のテーマについて講義する。

- (1) PERT と CPM
- (2) 待ち行列の理論
- (3) 非線形計画法と確率計画法

前期のⅠでは確定的モデルが中心であったが、後期は確率の入ったモデルと手法について説明する。テキストは前期と同じ。

7111 情報数理Ⅰ (選必・2年次・2単位・前期) 小 野 貴 生

※「情報数理Ⅱ」と合わせて以下の内容を講義する。

1. 有限集合 (同値関係 関数 類別)
2. 初等整数論入門 (合同式計算)
3. 有限群論 (部分群 傍系分解 準同型 不変部分群 共役類 置換群 行列式 アーベル群の基本定理)
4. 有限環 (左イデアル イデアル 準同型 巾零イデアル 根基 半単純環 極小左イデアル 単純環 体上の線形空間 行列)

5. 有限体（ベグバーンの定理 ガロア体）

6. 有限射影幾何

7. 符号理論入門

7112 情報数理Ⅱ（選必・2年次・2単位・後期） 小野 貴生

7111「情報数理Ⅰ」を参照。

7116 基礎数学Ⅴ（選必・2年次・2単位・後期） 春藤 修二

「基礎数学Ⅳ」に引き続き、解析学の基礎を講義する。主として微分方程式論を扱う。

7117 基礎数学Ⅴ（選必・2年次・2単位・後期） 小野 貴生

偏微分方程式論を講義する。

7121 情報処理Ⅲ（選必・2年次・2単位・前期） 真野 芳久

7122 情報処理Ⅲ（選必・2年次・2単位・前期） 村本 正生

7123 情報処理Ⅲ（選必・2年次・2単位・前期） 野呂 昌満

情報処理Ⅱをさらに発展させた内容を学ぶ。具体的には、集合型、列挙型、利用者定義データ型、動的データ構造、再帰呼出し、有効範囲規則、等である。随時プログラミング実習を行う。

7125 情報処理Ⅳ（選必・2年次・2単位・後期） 真野 芳久

7126 情報処理Ⅳ（選必・2年次・2単位・後期） 村本 正生

7127 情報処理Ⅳ（選必・2年次・2単位・後期） 野呂 昌満

情報処理Ⅲまでで学んだことを応用して、効率的なアルゴリズムおよびその設計手法、大きなプログラムを開発する際の系統的プログラミング手法を具体的なプログラミングを通して学ぶ。

7131 情報科学概論Ⅰ（選必・2年次・2単位・前期） 福村 晃夫

帰納的関数理論、形式的プログラム理論、チューリング機械の理論を通して情報処理の基礎理論を講義する。

7132 情報科学概論Ⅱ（選必・2年次・2単位・後期） 福村 晃夫

音声情報、画像情報などに対する人間の知覚機能の機械化および探索、推論、問題解決など人間の思考プロセスの機械化の手法の大略を講述する。

7135 会計原理 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 藤井達敬

下記テキストを使用して複式簿記と財務会計の基礎理論を講ずる。財務会計の対象は企業であるが、前期では企業のおかれている社会的、経済的、法制度的環境について考察し、財務会計の意義について論ずるとともに、企業の資本運動をとらえる複式簿記について計算演習にとり組むが、会計関連諸法規の体系と会計監査についても触れる。後期は資産会計、負債会計、資本会計、収益費用会計にわけて、発生主義、費用収益の対応、費用配分といった会計学の基礎的考え方についても考察する。さらに財務諸表の体系についても言及し、その社会的意義についても考える。

※テキスト：藤井達敬・斉藤昭雄編著『会計学の基礎』(第三出版)

新井清光監修『ワーク・ブック 3級商業簿記』(税務経理協会)

6006 経済原論1 (選必・2・3・4年次・4単位・通年) 水谷重秋
6007 2 辻正次

経営学科 6006、6007「経済原論」参照。

6104 経営学総論 (選必・3・4年次・4単位・前期+夏期集中) 岸田民樹

経営学科 6104「経営学総論」参照。

6131 経営財務論1 (選必・3・4年次・4単位・通年) 飯原慶雄

6132 経営財務論2 (選必・3・4年次・4単位・後期) M. Bremer

経営学科 6131、6132「経営財務論」参照。

7202 数理統計学Ⅱ (選・2・3・4年次・2単位・後期) 松田眞一

※「統計的方法Ⅰ・Ⅱ」で学んだ数理統計学を基礎として、その内容をさらに発展させることを目的とする。実際問題で取り扱うようなより複雑なデータに対する理論的方法の理解が中心であり、特に分散分析に主眼をおく。なお、この講義の内容は数学的になるので情報管理学科以外の学生は登録にあたって注意すること。

7206 数理計画法Ⅰ (選・3・4年次・2単位・夏期集中) 福島雅夫

数理計画法はオペレーションズ・リサーチの中核をなすものであり、経営や工学における意思決定の手法として、実際のさまざまな局面で用いられている。この講義では、数理計画法の代表的な手法である線形計画法の計算法、双対定理、感度分析を説明する。

なお、この講義の内容は数学的になるので、情報管理学科以外の学生は登録にあたって注意すること。

7207 数理計画法Ⅱ (選・3・4年次・2単位・夏期集中) 福島 雅 夫
数理計画法Ⅰに引続き、非線形計画法、整数計画法などを講義する。受講者は数理計画法Ⅰをすでに履修していることが望ましい。

7211 確率モデル (選・3・4年次・2単位・前期) 澤 木 勝 茂
工学的システムや企業経営における意思決定に用いられる種々の確率モデルについて紹介する。主なトピックスは次のとおりである。

- (1) 待ち行列
- (2) マルコフ決定過程
- (3) 信頼性理論
- (4) 設備取替え問題

7213 決定分析 (選・3・4年次・2単位・後期) 澤 木 勝 茂
人や組織は毎日何んらかの意思決定を行っている。“正しい”決定を下したときは楽しいが、誤まった決定は個人にとっても組織にとっても大きなコストをもたらすばかりでなく、摩擦の原因であり不満を引起すものである。ここでは、合理的で一貫性のある意思決定の数学的方法について講義する。特に不確実性の下での意思決定を中心に解説する。内容は次のとおりである。

- (1) 意思決定の基本的枠組み
- (2) 効用理論
- (3) デシジョン・トリー
- (4) 逐次決定問題
- (5) 非協力ゲームと一期間モデル
- (6) 協力ゲームと多期間モデル
- (7) 組織的意思決定

7215 制御理論 (選・3・4年次・2単位・前期) 鈴木 正 之
ダイナミカルシステムの表現方法として微分方程式の簡単な解説を最初に行い、ダイナミカルシステムとして制御システムを定義する。最適制御問題とは、このダイナミカルシステムを人間が決めた目的(例えば利潤を最大にすることなど)に対し最適となる制御(方策)を決定することである。この様な最適制御を求める方法として、変分法、ポントリヤーギンの最大原理、ダイナミックプログラミング(D. P.)等について解説する。

最後に最適制御理論の応用例として、社会システムにおける最適決定の例を述べる。

7216 シミュレーション (選・3・4年次・2単位・後期) 後藤 邦 夫

デジタル計算機を用いたシミュレーションについて講義する。内容はシミュレーションの分類、擬乱数の発生、プログラミング、結果の検証などであり、理論と簡単な例を並行して学習する。理論面では、数学、確率、統計的な考え方が必要となり、一方でプログラミングも重要である。使用プログラミング言語はPascalが中心で、一部他の言語を用いる。講義は原則として普通教室で行い、プログラミングは自習とする。定期試験の他にレポート課題として簡単なシミュレーションプログラムの作成とその結果についての考察を与える。

7221 システム設計Ⅰ (選・3・4年次・2単位・前期) 鈴木 敦 夫

7222 システム設計Ⅰ (選・3・4年次・2単位・後期)

システム理論の基礎となる数理的な話題について講義を行なう。Ⅰでは、数学的な準備から始めて、物理的なモデル、オートマトンモデル、非決定論的システムへと進む。Ⅱでは、システムの安定性、意志決定システム、ゲームの理論などの話をする予定。

7225 システム監査Ⅰ (選・3・4年次・2単位・前期) 山 田 進

社会の情報高度化とともに、情報システムを取り巻く各種リスクが増大している。広範囲にネットワーク化されている情報システムが何等かの原因で突然機能停止してしまったらどのようなことになるのだろうか、

コンピュータ化によって多くの情報が極めてコンパクトに収録され、たちまち複写してしまえる。企業や個人の情報が簡単に複写されてしまうようなことになればこれ又どのようなことになるのだろうか。

システム監査Ⅰはこのような情報システムの安全管理(セキュリティ)について問題点とそれらの対策を考えて見る。

- ・セキュリティマネジメント

- ・リスク分析

- ・セキュリティ対策技法

- ・不測事態計画

7226 システム監査Ⅱ (選・3・4年次・2単位・後期) 山 田 進

情報システムに対する脅威は、単にシステムの安全性を脅かすものだけに止まらない。自社の情報システムがライバル会社のシステムに比べて劣っていると言うことは何を意味するのであろうか。多額の投資をして開発した情報システムは本当に経営に役立っているのだろうか。経営者、管理者は情報システムを最大限に活用しているのだろうか。コンピュータの中に蓄積されている情報は、正確で信頼できるものであろうか。

情報システムは今や極めて重要な経営管理統制の手段となっている。

システム監査Ⅱはこのような経営管理統制（内部統制）の立場から情報システムの信頼性を検討するメカニズムとしてのシステム監査の本質を探り、新しい情報化時代の内部統制の構造と、システムのライフサイクルを通しての評価ないしは監査方法を考える。

- ・システム監査の基本
- ・情報システムと内部統制
- ・情報システムの信頼性・安全性・および効率性
- ・情報システムの企画・開発・運用段階における評価ないしは監査

7231 通信システムⅠ（選・３・４年次・２単位・前期） 後 藤 邦 夫

近年一層重要性の高まっている通信ネットワークの原理を学ぶ。通信システムⅠでは、概説として、通信媒体、アナログ伝送、デジタル伝送、回線交換、パケット交換、通信プロトコル（通信規約）の概念の学習と学内通信ネットワークの紹介を行う。普通教室での講義を中心とし、２回程度の計算機実習を行う。講義ノートを配布するが、勉強をしないで試験を受けても単位は取れないので注意して欲しい。通信技術の概要のみを勉強したいものは、Ⅱを履修する必要はない。

7232 通信システムⅡ（選・３・４年次・２単位・後期） 後 藤 邦 夫

「通信システムⅠ」に続き、OSIプロトコルの詳細、学科の計算機で使用しているInternetプロトコルを用いた通信プログラミング実習（２から３回）、ローカリエリアネットワークについて学習し、さらに、ISDNなどの最新技術を紹介する。Ⅰをすでに受講していることが望ましい。講義ノート、試験についてはⅠと同じ。

7235 情報システムⅠ（選・３・４年次・２単位・夏期集中） 杉 原 厚 吉

7236 情報システムⅡ（選・３・４年次・２単位・夏期集中）

種々の目的に合わせて情報を処理し利用するためのシステムの基礎を講義する。特に、Ⅰでは情報処理の際に発生する数値誤差の問題とその対策を扱い、Ⅱでは、大規模データを処理する際の計算時間の増加とその対策を扱う。必要に応じて、計算機を用いた演習も行う。したがって、何でもよいから計算機言語を一つは使えることが、聴講の条件である。出欠はとらない。演習のレポートおよび試験によって採点する。

7241 情報論理Ⅰ（選・３・４年次・２単位・前期） 春 藤 修 二

いわゆる記号論理学を論述する。計算機科学が人間の思考法を問題にするまでに進展した現在、論理学がその基礎教養となったのは当然といえよう。若干の歴史概観の後、主として命題論理を取り扱う。予備知識を前提としないので他学科の学生

の履修も可能である。

7242 情報論理Ⅱ (選・3・4年次・2単位・後期) 春 藤 修 二

「情報論理Ⅰ」の内容を引き継ぎ、主として述語論理を扱う。多値論理、様相論理など古典論理以外のいろいろな論理についてもふれる予定である。これらの論理の証明論、モデル論にはかなりの数学的素養（形式的取扱いに慣れていること）を要する。

7251 情報・通信科学論Ⅰ (選・3・4年次・2単位・前期・隔週)

真野 芳久 他

7252 情報・通信科学論Ⅱ (選・3・4年次・2単位・後期・隔週)

澤木 勝茂 他

この講義では情報科学および通信科学の最近の話題について平易に解説するとともに、企業経営の情報化の実態についても紹介する。講義は、以下の複数のトピックスについて適当な学外講師とともに運営する。

1. 金融業務における種々の人工知能の事例について
2. 企業における戦略的情報システムについて
3. 光通信技術の基礎とその応用について
4. ソフトウェア信頼性の現状と動向
5. 神経回路モデルについて
6. パターン認識について
7. 人間関係のグラフ
8. 総合情報通信システムとその性能評価
9. コンピュータグラフィックスにおける最近の話題と卓上出版について
10. 高級言語の処理系の理論および技法について

7266 アルゴリズム論 (選・3・4年次・2単位・後期) 鈴 木 敦 夫

プログラミングの基礎となるデータ構造とアルゴリズムについて勉強する。基本的なことを一通り学んだ後、なるべく具体的な問題を題材にして講義を進めていきたい。

7267 ソフトウェア工学 (選・3・4年次・2単位・前期) 野 呂 昌 満

プログラミング言語、ソフトウェアの計測、そのためのモデル、開発工程のモデル、開発環境等、ソフトウェア工学の標準となっている過去の研究成果から、現在の最新の話題までを紹介する。興味を持った話題についてレポートをまとめることで試験とします。

7268 オペレーティングシステム（選・3・4年次・2単位・後期）

和田 幸一

オペレーティングシステム（OS）の目的と機能を概説し、OSの機能に必要な並列処理に対する基本的なアルゴリズムを示しそれらのアルゴリズムがOSの中でどのように使われているかについて述べる。

7269 プログラミング言語処理（選・3・4年次・2単位・前期）真野 芳久

人の書いたソースプログラムを計算機上で実行できる形に変換したり実行環境を提供する計算機プログラムを言語処理系と呼ぶ。

ここでは、ソースプログラムを機械語あるいはそれに近いものに変換するコンパイラを理解することを主なテーマとして、

- ・言語処理系の役割とその処理内容
- ・プログラミング言語の定義を記述する方法
- ・コンパイラの各処理内容の詳細（構文解析、記号表、中間表現、等）

について、基礎理論と処理手法とを学ぶ。

7256 応用数学Ⅰ（選・3・4年次・2単位・後期）

春藤 修二

（関係の代数）

「関係」の一般論と特に順序関係、および順序構造と代数系を結びつける束（そく）の理論を取り扱う。余裕があれば論理代数についてもふれたい。「情報数理Ⅰ」の知識を前提とする。

参考書：小野寛晰『関係の代数』（シリーズ新しい応用の数学6）教育出版

7257 応用数学Ⅱ（選・3・4年次・2単位・夏期集中）

玉置 光司

（応用確率論）

応用確率論を中心に講義する。具体的には

- (1) 確率論一般
- (2) 最良選択問題
- (3) 新聞売り子の問題
- (4) 確率スケジューリング

7272 多変量解析Ⅱ（選・3年次・2単位・後期）

木村 美善

各種多変量解析法の解説とその応用について講義する応用にあたってはデータ解析とグラフィックスのための対話型環境である「Sシステム」や統計パッケージの「SPSSX」などを利用する。実習を取り入れ、4回の授業に対して1回の割合でレポートを作成し提出してもらうつもりである。理論的厳密性よりも直観的理論に重点をおくが、理解するためには相応の努力が必要である。

7275 データ解析Ⅰ（選・３・４年次・２単位・前期） 阪 本 雄 二
SPSSの基本的な使用方法と統計的データ解析の初歩について解説と演習を行う。

7276 データ解析Ⅱ（選・３・４年次・２単位・後期） 阪 本 雄 二
データ解析Ⅰにひき続き、種々の統計的データ解析の手法について解説と演習を行う。

7282 情報科学特殊問題（選・３・４年次・２単位・後期） 野 呂 昌 満
（生成系による言語処理）
生成系によるプログラミング言語処理系の開発を中心に講義を進める。簡単な言語を設計してその処理系を作成することで試験とします。

7283 情報科学特殊問題（選・３・４年次・２単位・夏期集中） 村 上 征 勝
（社会調査法—数量化Ⅲ類）
社会調査は社会における人間の行動を研究する方法として広く用いられている。この社会調査について、データの収集から分析までを講義する。具体的には、調査方法、調査票の作成法、標本の抽出法、調査結果の整理・分析法について話をする。特に分析法に関しては、数量化理論Ⅲ類を中心に実際にデータの分析を試みる予定。

6401 現代産業論 （選・２・３・４年次・２単位・前期） 並 木 友
6402 （損害保険論） １・２
経営学科 6401 「現代産業論（損害保険論） 1」参照。
6402 2

6403 現代産業論 （選・２・３・４年次・２単位・前期） 奥 野 賢 造
6404 （総合商社論） １・２
経営学科 6403 「現代産業論（総合商社論） 1」参照。
6404 2

6411 現代産業論 （選・２・３・４年次・２単位・前期） 若 林 直 樹
6412 （電子・電機産業論） １・２
経営学科 6411 「現代産業論（電子・電機産業論） 1」参照。
6412 2

6413 現代産業論 （選・２・３・４年次・２単位・前期） 榎 本 幸 一
6414 （自動車産業論） １・２
経営学科 6413 「現代産業論（自動車産業論） 1」参照。
6414 2

- 6415 現代産業論 (選・2・3・4年次・2単位・^{前期}_{後期}) 高 木 夏 樹
 6416 (都市銀行論) 1・2
 経営学科 6415 「現代産業論(都市銀行論) $\frac{1}{2}$ 」参照。
 6416
- 6417 現代産業論 (選・2・3・4年次・2単位・^{前期}_{後期}) 早川淳一郎 他
 6418 (先輩経営者と語る) 1・2
 経営学科 6417 「現代産業論(先輩経営者と語る) $\frac{1}{2}$ 」参照。
 6418
- 5502 計量経済学 (^{旧カリ}_{新カリ} 自選・3・4年次・4単位・通年) 近 藤 仁
 経済学科 5502 「計量経済学」参照。
- 6116 経営労務論 1 (^{旧カリ}_{新カリ} 選・必・3・4年次・4単位・^{通年}_{前期}) 藤 原 道 夫
 6117 経営労務論 2 (^{旧カリ}_{新カリ} 選) 大 津 誠
 経営学科 6116、6117 「経営労務論」参照。
- 6201 経営組織論 (^{旧カリ}_{新カリ} 自選・3・4年次・4単位・通年) 渡 辺 直 登
 経営学科 6201 「経営組織論」参照。
- 5821 財務会計論 (^{旧カリ}_{新カリ} 自選・3・4年次・4単位・通年) 藤 井 達 敬
 経済学科 5821 「財務会計論」参照。
- 6121 経 営 史 (^{旧カリ}_{新カリ} 選・必・3・4年次・4単位・通年) 和 田 一 夫
 経営学科 6121 「経営史」参照。
- 6126 企 業 論 (^{旧カリ}_{新カリ} 選・必・3・4年次・4単位・通年) 成 生 達 彦
 経営学科 6126 「企業論」参照。
- 6136 マーケティング論 (^{旧カリ}_{新カリ} 選・必・3・4年次・4単位・通年・隔週) 中 田 善 啓
 経営学科 6136 「マーケティング論」参照。
- 6211 投 資 論 (^{旧カリ}_{新カリ} 自選・3・4年次・4単位・通年) 加 藤 清
 経営学科 6211 「投資論」参照。

- 6213 国際財務論 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) M. Bremer
新カリ
経営学科 6213「国際財務論」参照。
- 6221 流通論 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年・隔週)
新カリ
成 生 達 彦
経営学科 6221「流通論」参照。
- 7324 経営分析 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 大 雄 令 純
新カリ
経営学科 6237「経営分析論」参照。
- 6251 多国籍企業論 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・前期) A. Iaquinto
新カリ
経営学科 6251「多国籍企業論」参照。
- 6302 経営情報論 (旧カリ 選随・3・4年次・4単位・通年) 山 田 進
新カリ
経営学科 6302「経営情報論」参照。
- 6356 英語CD1 (旧カリ 自選・3・4年次・2単位・通年) 香 取 真理子
新カリ
英米科 2901「英語Ⅱ訳読」参照。
- 6357 英語CD2 (旧カリ 自選・3・4年次・2単位・通年) 平 出 昌 嗣
新カリ
イスパニヤ科 3372「英語b訳読」参照。
- 6351 時事英語 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) K. Yasuda
新カリ
(General Topics)
経営学科 6351「時事英語 (General Topics)」参照。
- 6352 時事英語 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・前期) D. McCreath
新カリ
(Newspapers)
経営学科 6352「時事英語 (Newspapers)」参照。
- 6353 時事英語 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) D. McCreath
新カリ
(Magazines)
経営学科 6353「時事英語 (Magazines)」参照。

6901 職業指導 1 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 藤原 道夫
 6902 2 (新カリ 前期) 大津 誠
 経営学科 6116、6117「経営労務論」で充当。

6264 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 鎌田 信夫
 (財務報告論)
 経営学科 6264「経営学特殊問題 (財務報告論)」参照。

6266 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・夏期集中)
 (日本経営史) 石川 健次郎
 経営学科 6266「経営学特殊問題 (日本経営史)」参照。

6267 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 飯原 慶雄
 (金融派生商品)
 経営学科 6267「経営学特殊問題 (金融派生商品)」参照。

6270 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 皆川 正
 (経営数学)
 経営学科 6270「経営学特殊問題 (経営数学)」参照。

6271 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・夏期集中)
 (企業金融の理論) 倉澤 資成
 経営学科 6271「経営学特殊問題 (企業金融の理論)」参照。

6272 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 渡邊 頼純
 (E C経済論)
 経済学部 5529「国際経済学特殊講義 (E C経済論)」参照。

6273 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 菊池 努
 (国際関係論)
 経営学科 6273「経営学特殊問題 (国際関係論)」参照。

6274 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 成生 達彦 他
 (データ解析)
 経営学科 6274「経営学特殊問題 (データ解析)」参照。

- 6281 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) A. Iaquinto
(Japanese Business)
経営学科 6281「経営学特殊問題 (Japanese Business)」参照。
- 6282 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・前期) M. Bremer
(Business in North America)
経営学科 6282「経営学特殊問題 (Business in North America)」参照。
- 6283 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・前期) T. Jitodai
(Data Analysis)
経営学科 6283「経営学特殊問題 (Data Analysis)」参照。
- 6284 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) T. Jitodai
(American Society)
経営学科 6284「経営学特殊問題 (American Society)」参照。
- 6285 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) A. Iaquinto
(国際経営戦略論)
経営学科 6285「経営学特殊問題 (国際経営戦略論)」参照。
- 6286 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・後期) T. Jitodai
(World Population Problems)
経営学科 6286「経営学特殊問題 (World Population Problems)」参照。
- 6291 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・2単位・後期) P. LaForge
(経営倫理)
経営学科 6291「経営学特殊問題 (経営倫理)」参照。
- 6292 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・通年) 大 津 誠
(日米の労働問題)
経営学科 6292「経営学特殊問題 (日米の労働問題)」参照。
- 6293 経営学特殊問題 (旧カリ 自選・3・4年次・4単位・夏期集中)
(日本の経済と市場) 宮 崎 元
経営学科 6293「経営学特殊問題 (日本の経済と市場)」参照。

9091 商業科教育法A (随・3・4年次・2単位・前期) 安藤明之
商業教育の多様化が進むなかで、商業教育の理念および概要をはじめ、商業経済、簿記会計、事務および情報処理の四つの分野についてそれぞれ具体的に学ぶ。

9092 商業科教育法B (随・3・4年次・2単位・夏期集中) 安藤明之

1. 高等学校教育課程の基礎
2. 商業科教育について
3. 授業設計と授業計画案について
4. 授業の心得
5. 視聴覚教材の利用
6. 教科外概要について

商業科教育をベースに上記1、3～6を講義する。

9095 数学科教育法 (随・3・4年次・4単位・通年) 小野貴生
次の分野を中心に、中・高の数学科教員としての素養を高めることを目的として講義を行なう。

位相空間論 (位相空間・コンパクト空間・一様位相空間・ハウスドルフ空間・正規空間)

位相解析 (バナハ空間・ノルム環・ヒルベルト空間・スペクトル分解定理)